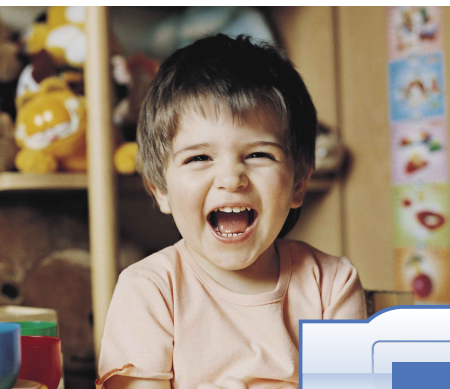
SONY

クリック

# ハンディカム ハンドブック
# HDR-CX120

目次

便利な撮影テクニック

索引

HANDYCAM



4-129-504-**01**(2)

JP

# ハンディカムハンドブックの使いかた

本書は、ハンディカムの詳細な活用方法を説明しています。取扱説明書（別冊）とあわせてご覧ください。パソコンとつないだ使いかたは、取扱説明書と付属ソフトウェア「PMB（Picture Motion Browser）」のヘルプ「PMBガイド」をご覧ください。

## 便利な検索方法

各ページ右端のボタンをクリックすれば、該当ページに移動します。

← ここをクリック

- Adobe Readerの機能を使ってキーワード検索できます。Adobe Readerの使いかたは、Adobe Readerのヘルプをご覧ください。
- 本書を印刷してご覧いただくこともできます。

### 本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 本書では、内蔵メモリー、“メモリースティック PRO デュオ”を「記録メディア」といいます。
- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「“メモリースティック PRO デュオ”」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 目次



## 準備する



## 撮る/見る

## 編集する



## 記録メディアを使いこなす



## 本機の設定を変える

## 困ったときは



## その他

# 便利な撮影テクニック

### ゴルフのスイングをチェックしたい

### ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

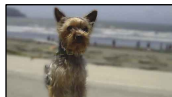
### 動画撮影中に静止画も撮りたい

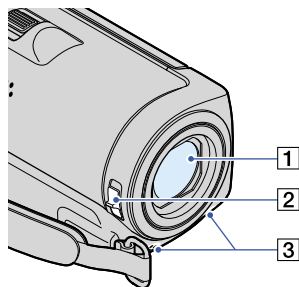
### 笑顔を自動で撮りたい

### ステージ上の子どもの顔がライトで白くなってしまう

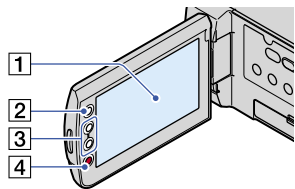
### 花をアップでくっきり撮りたい

### 花火をきれいに撮りたい

### 画面左の犬にピントを合わせたい

# 各部の名前

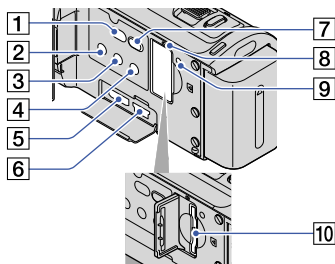
（　）内は参照ページです。

1 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（15）

2 LENS COVER（レンズカバー）スイッチ（21、22、27、29）

3 内蔵マイク

1 液晶画面・タッチパネル（10、32）
液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。

2 🏠（ホーム）ボタン（10）

3 ズームボタン（31、39）

4 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（22、28）

1 ⊙（ワンタッチ ディスク）ボタン（取扱説明書をご覧ください。）

2 POWER（電源）ボタン（18）

3 DISP（画面表示）ボタン（33）

4 EASY（かんたん操作）ボタン（21）

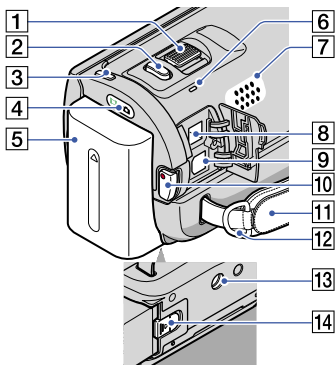
5 HDMI OUT端子（41）

6 ⧟（USB）端子（56）

7 ▶（画像再生）ボタン（21、34）

8 アクセスランプ（内蔵メモリー、"メモリースティック PRO デュオ"）（60）
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。

9 RESET（リセット）ボタン
日時を含めすべての設定が解除されます。

10 "メモリースティック デュオ"スロット（60）

1 ズームレバー(31、39)

2 PHOTO(フォト)ボタン(23、30)

3 MODE(モード)ボタン(23、29)

4 (動画)・(静止画)ランプ(18)

5 バッテリーパック(16)

6 CHG(充電)ランプ(16)

7 スピーカー

8 DC IN端子(16)

9 A/Vリモート端子(41、56)

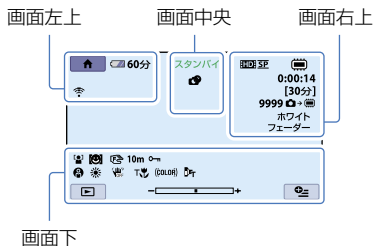
10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(22、28)

11 グリップベルト(21、27)

12 ショルダーベルト取り付け部

13 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を取り付けます。

14 BATT(バッテリー)取りはずしレバー(17)

## 画面表示

### 画面左上

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| | ホームボタン(10) |
| | セルフタイマー(90) |
| | 内蔵ズームマイク(89) |
| | マイク基準レベル低(89) |
| 4:3 | ワイド切換(66) |
| 60分 | バッテリー残量の目安 |
| | 戻るボタン(10) |

### 画面中央

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| [スタンバイ]/[●録画] | 撮影状態(22、28) |
| 4.0M 3.0M 1.9M VGA | 静止画サイズ(70) |
| | スライドショー設定(40) |
| | 警告(96) |
| ► | 再生表示(25、35) |

### 画面右上

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| HD SP<br>SD SP | 記録画質(HD/SD)と録画モード(FH/HQ/SP/LP)(65) |
| | 記録/再生/編集メディア(60) |
| 0:00:00 | カウンター(時:分:秒)(25、35) |
| [00分] | 記録残量時間の目安(22、27) |
| ホワイト フェーダー ブラック フェーダー | フェーダー(89) |


目次
便利な撮影テクニック
索引

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| | 液晶バックライト切(33) |
| 9999<br>9999 | およその静止画撮影可能枚数と記録メディア(23、30) |
| 101 | 再生フォルダ(36) |
| 100/112 | 再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数(24、34) |

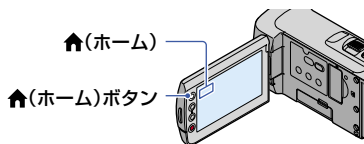
## 画面下

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| | 顔検出(73) |
| | スマイル検出設定(74) |
| | 手動フォーカス(86) |
| | シーンセレクション(87) |
| | ホワイトバランス(88) |
| | 手ブレ補正切(67) |
| | SPOT測光フォーカス(84)/フレキシブルスポット測光(84)/カメラ明るさ(86) |
| | テレマクロ(85) |
| (COLOR) | X.V.COLOR(67) |
| | アクセサリーレンズ(68、71) |
| | オプションボタン(10) |
| | 画像再生ボタン(24、34) |
| | スライドショーボタン(40) |
| 101-0005 | データファイル名(25、35) |
| | プロテクト(51) |
| | ビジュアルインデックス表示ボタン(25、35) |

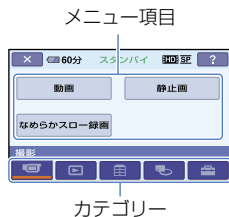
- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

# 「ホーム」と「オプション」－2種類のメニューで本機を使いこなす

## ホームメニューの使いかた

(ホーム)ボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。本機の設定変更などができます。

**1** **希望のカテゴリー → メニュー項目の順にタッチして設定を変更する。**

メニュー項目

カテゴリー

**2** **画面の表示に従って設定する。**

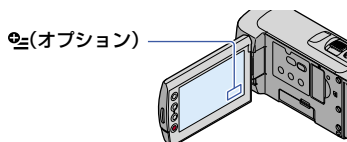
**3** **設定が終わったら、OK をタッチする。**

- 希望の項目が画面にないときは、▲/▼ をタッチします。
- 前の画面に戻るには、↩ をタッチします。
- ホームメニュー画面を消すには、✕ をタッチします。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

### ヘルプ機能の使いかた

ホームメニューに説明(ヘルプ)を表示させるには、ホームメニューの画面で ? (ヘルプ)をタッチします(下辺がオレンジ色に変わります)。次に、内容を知りたいメニュー項目をタッチします。

## オプションメニューの使いかた

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。(オプション)ボタンを押すと、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。

**1** **タブ → 希望のメニュー項目の順にタッチして設定を変更する。**

メニュー項目

タブ

**2** **設定が終わったら、OK をタッチする。**

**ご注意**

- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。(タブが表示されないこともあります。)
- かんたん操作中はオプションメニューを使えません。
- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

# メニュー一覧

## ホームメニュー一覧

- かんたん操作中は、[音/画面設定]は[音設定]になります。

* かんたん操作中に設定できる項目です。
** かんたん操作中は、[顔枠表示設定]以外は設定できます。

## オプションメニュー一覧

下記は、オプションメニューからのみ設定できる項目です。

### タブ



### タブ



### タブ



### 状況によってタブが異なる/タブなし



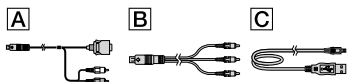
目次
便利な撮影テクニック
索引

# 使用前に必ずお読みください

## 付属品を確かめましょう

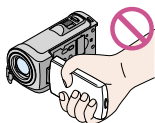
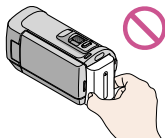
はじめに、付属品を確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。（　）内は個数。

- □ “メモリースティック PRO デュオ” 16GB（1）
- □ ACアダプター（1）
- □ 電源コード（1）
- □ D端子A/Vケーブル（1）A
- □ A/V接続ケーブル（1）B
- □ USB ケーブル（1）C
- □ リチャージャブルバッテリーパック NP-FH50（1）
- □ CD-ROM「Handycam Application Software」（1）
  - 「PMB」（ソフトウェア、「PMBガイド」を含む）
  - 「ハンディカムハンドブック」（PDF）
- □ 取扱説明書（1）
- □ 保証書（1）

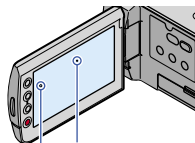
A　B　C

- 本機で使える“メモリースティック”については、60ページをご覧ください。

## 故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。

**液晶画面**

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください（108ページ）。
- 本機の ▮▮（動画）ランプ/📷（静止画）ランプ（18ページ）やアクセスランプ（60ページ）が点灯、点滅中に次のことをすると、記録メディアが壊れたり、記録した映像が失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - “メモリースティック PRO デュオ”を取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取りはずしてください。

## メニュー項目、液晶画面、およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒い点
白や、赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

## 録画・録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## 他機での再生に際してのご注意

- 本機は、ハイビジョン画質（HD）の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質（HD）で記録した映像は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格に非対応の機器

## ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクは

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

## 撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします（取扱説明書をご覧ください）。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます（56ページ）。

## バッテリー・電源アダプターに関するご注意

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取りはずしてください。

## パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のメディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

## 本機の廃棄・譲渡に関するご注意

- 動画と静止画の全削除［HD 全削除］/［SD 全削除］、［■ 全削除］や、［メディア初期化］（63ページ）を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは、［内蔵メモリー データ消去］（64ページ）を行って、内蔵メモリー内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

## 画像が正しく記録・再生されないときは［メディア初期化］してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存（56ページ、および取扱説明書をご覧ください）したあと、［メディア初期化］（63ページ）を行ってください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## カール ツァイス レンズ搭載

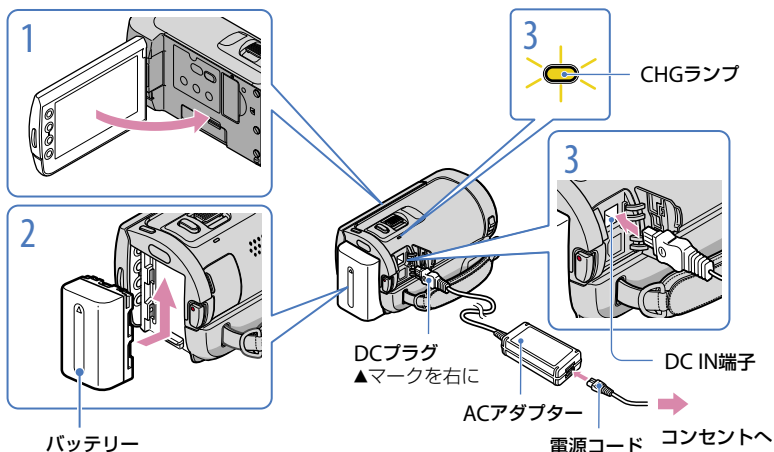
本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値です。

目次

便利な撮影テクニック

索引

# 準備1：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)を本機に取り付けて充電します。

- "インフォリチウム"バッテリー Hシリーズ以外は使えません。

## 1 本機の液晶画面を閉じて、電源を切った状態にする。

## 2 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

## 3 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

CHGランプが点灯して充電が始まります。
充電が完了するとCHGランプが消えます(満充電)。

## 4 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

- 撮影・再生可能時間は、100ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面左上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。

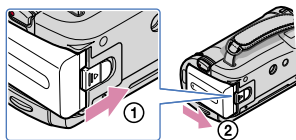
### 充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）

| バッテリー型名 | 満充電時間 |
| --- | --- |
| NP-FH50（付属） | 135 |
| NP-FH70 | 170 |
| NP-FH100 | 390 |

• 25℃で使用したときの時間です。10 ～ 30℃でのご使用をおすすめします。

### バッテリーを取りはずすには

液晶画面を閉じて、BATT（バッテリー）取りはずしレバーをずらしながら（①）バッテリーを取りはずす（②）。

### コンセントの電源で使うには

「バッテリーを充電する」のつなぎかたのまま操作する。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

### 海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

• 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用しないでください。

### バッテリーについて

• バッテリーやACアダプターを取りはずすときは、本機の液晶画面を閉じ、（動画）ランプ/（静止画）ランプ（18ページ）が消えていることを確認してください。
• 次のとき、充電中のCHGランプが点滅することがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
• NP-FH30は撮影・再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。
• お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分間続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、82ページ）。

### ACアダプターについて

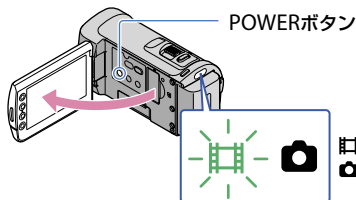
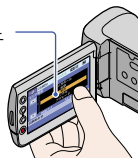
• ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
• ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
• ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

# 準備2：電源を入れて日時を合わせる

## 1 本機の液晶画面を開く。

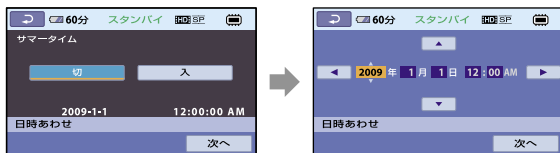
電源が入ります。

• 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタンを押します。

(動画)：動画を撮影するとき
(静止画)：静止画を撮影するとき

## 2 ▲/▼ でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

• 再度、時計あわせをするには、(ホーム)→(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]の順にタッチします。画面にないときは、▲/▼ をタッチして項目を表示させます。

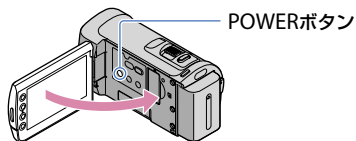
## 3 同様にサマータイムを設定し、日時を設定して、OK をタッチする。

時計が動き始めます。

• [サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

• 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、(ホーム)→(設定)→[画像再生設定]→[日時/データ表示]→[日付時刻データ]→ OK → ↩ → ✕ をタッチします。
• ボタンをタッチしたときなどの操作音を消すには、(ホーム)→(設定)→[音/画面設定]→[操作音]→[切]→ OK → ↩ → ✕ をタッチします。

* 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調整（キャリブレーション）をしてください（109ページ）。

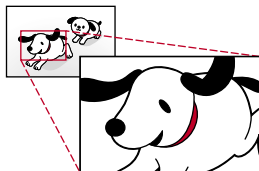
## 電源を切るには

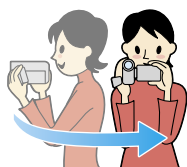
液晶画面を閉じる。（動画）ランプが数秒間点滅して、電源が切れます。

* POWERボタンを押しても電源を切ることができます
* [パネルで電源オン]（83ページ）の設定が[切]になっているときは、POWERボタンを押して電源を切ってください。

目次
便利な撮影テクニック
索引

# きれいに撮るための5つのアドバイス

## ★安定した姿勢で撮る

上体を起こし、脇をしめて、構えましょう。
手ブレ防止機能に頼り切らずに、本機をむやみに動かさないことが基本です。

## ★ズームはなめらかに

ゆっくり、なめらかにズームしましょう。
ズームを控えめに使い、なめらかなズームを心がけると、再生したときに、見やすい映像になります。

## ★パンニングでスケール感を演出

本機を水平に動かす「パンニング」を活用しましょう。
安定した姿勢で、身体をゆっくり回して撮ります。さらに、終わりで数秒止めると、安定感のある映像になります。

## ★ナレーションで映像にアクセントを

撮影中の画面をナレーションのように説明したり、被写体に話しかけたりして、音声に配慮しましょう。
撮影者の声は、被写体よりも大きく録音されがちなので、小さめに。

## ★アクセサリーを有効活用

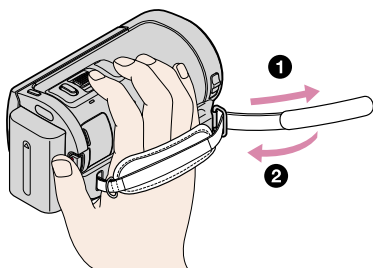
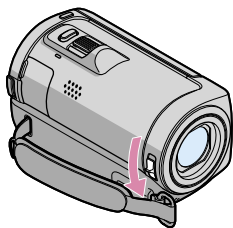
本機専用アクセサリーも活用しましょう。
例えば、三脚は、長時間撮影や、花火など夜間撮影でも見やすい画像を撮影できます。また、予備バッテリーも準備すると安心です。

# かんたんに撮って見る（EASY かんたん操作）

EASYボタンを押すだけで、かんたんに撮って見ることができます（かんたん操作）。本機で設定や調整ができる項目のうち、画像サイズや削除など基本的な項目だけが選べるようになります。その他は自動設定されます。

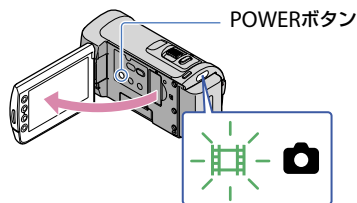
- かんたん操作中は、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。（かんたん操作前の設定値が保持されるメニュー項目もあります。）

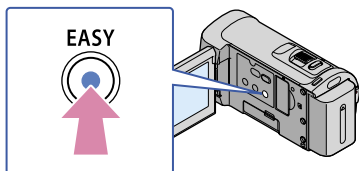
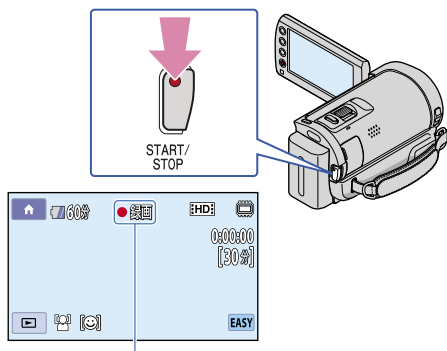
## 動画を撮る

お買い上げ時の設定では、動画はハイビジョン画質（HD）で内蔵メモリーに記録されます（60、65ページ）。

### 1 グリップベルトをしっかり締める。

### 2 レンズカバーを開ける。

### 3 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン（18ページ）を押します。

## 4 EASYボタンを押す。

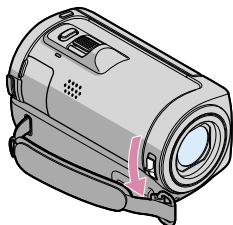
EASY が液晶画面に表示されます。

## 5 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。

**[スタンバイ]→[●録画]**

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

**ちょっと一言**

- [録画モード]は[HD SP]または[SD SP](65ページ)で記録されます。

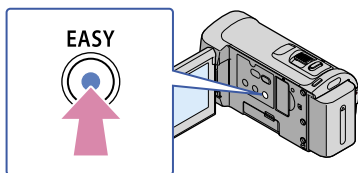
## 静止画を撮る

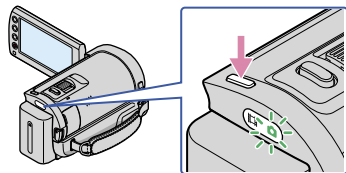
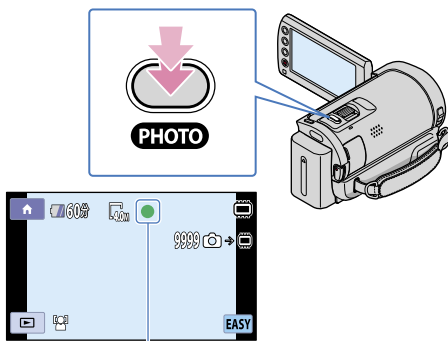
## 1 レンズカバーを開ける。

## 2 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン（18ページ）を押します。

## 3 EASYボタンを押す。

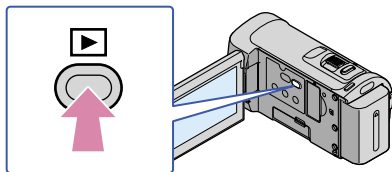
EASY が液晶画面に表示されます。

## 4 MODEボタンを押して、（静止画）ランプを点灯させる。

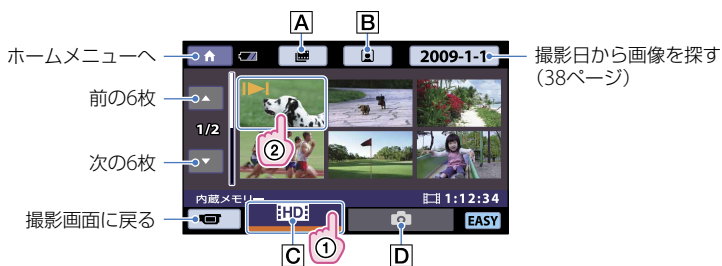
画像の横縦比が4：3になります。

## 5 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。

が消えると記録されます。

## 動画を見る

### 1 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。
- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン（18ページ）を押します。

### 2 ▶（画像再生）ボタンを押す。

数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。

### 3 HD（またはSD）タブ（①）→ 見たい動画（②）をタッチする。

A ：フィルムロールインデックス画面を表示する（37ページ）。
B ：フェイスインデックス画面を表示する（37ページ）。
C HD：ハイビジョン画質（HD）で記録した動画を表示する。*
D ：静止画を表示する。
* ［HD/SD 設定］（65ページ）で標準画質（SD）の動画を選択しているときは、SD が表示されます。

- 最後に再生・撮影した動画や静止画にI▶Iが表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。（"メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画は▶）

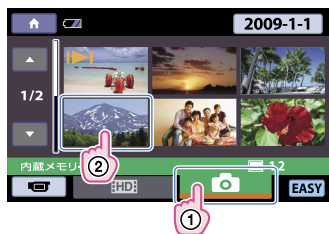
目次
便利な撮影テクニック
索引

動画が再生されます。

**ちょっと一言**

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◄I⊜/⊜I► をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 音量調節は、動画再生中に VOL（音量調節）→ −/+ で調節 → ⮌ をタッチします。
- [日時/データ表示]は[日付時刻データ]（75ページ）で固定されます。
- 再生する記録メディアを切り換えるには、[動画メディア設定]（60ページ）で記録メディアを選択してください。

## 静止画を見る

### (静止画)タブ(①) → 見たい静止画(②)をタッチする。

静止画が再生されます。

**ちょっと一言**

- [日時/データ表示]は[日付時刻データ]（75ページ）で固定されます。

- 再生する記録メディアを切り換えるには、[静止画メディア設定]（60ページ）で記録メディアを選択してください。

### かんたん操作をやめるには

撮影状態、またはメニュー設定画面を終了してから、EASYボタンをもう一度押す。
液晶画面の EASY 表示が消えます。

### かんたん操作中のメニュー設定

（ホーム）ボタンを押すと設定可能なメニューが表示されます。設定可能なメニューについてはメニュー一覧（11ページ）をご覧ください。

**ご注意**

- オプションメニューは使えません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときは、かんたん操作を解除してください。

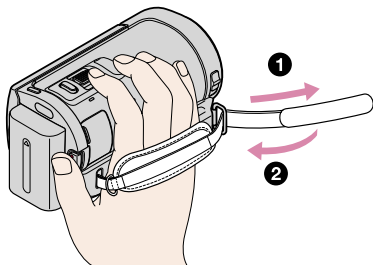
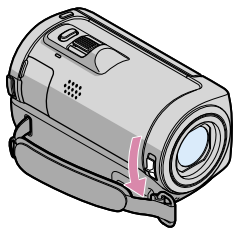
### かんたん操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えないボタンや機能があります。使えないボタンを押すと、「EASY かんたん操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

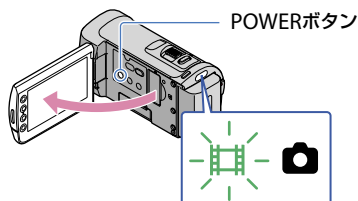
# 撮る

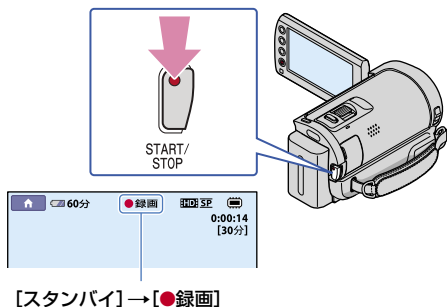
## 動画を撮る

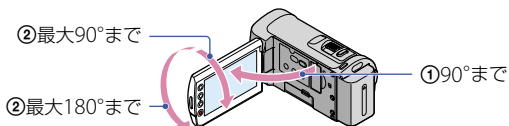
お買い上げ時の設定では、動画はハイビジョン画質（HD）で内蔵メモリーに記録されます（60、65ページ）。

### 1 グリップベルトをしっかり締める。

### 2 レンズカバーを開ける。

### 3 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

• 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン（18ページ）を押します。

## 4 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。

**[スタンバイ]→[●録画]**

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が止まります。
- 動画の撮影可能時間は100ページをご覧ください。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 記録メディアや画質を変更できます(60、65ページ)。
- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[入]です。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 撮影終了後、アクセスランプ点灯中、または点滅中は、撮影したデータをメディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取りはずしたりしないでください。
- 撮影可能時間や空き容量などを確認するには、(ホーム)→(メディア管理)→[メディア情報]をタッチします(62ページ)。
- 液晶画面を見やすく調節するには、液晶画面を90°まで開き(①)、見やすい角度に調節してください(②)。液晶画面をレンズ側に180°回して(②)自分撮り(対面撮影)できます。

- 液晶パネルを開閉するときや、角度を調節するときに、液晶パネル横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。

**ちょっと一言**

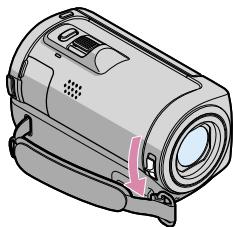
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます([デュアル記録]、31ページ)。
- 人物の顔を検出すると白色の枠が表示され、顔部分の画質が自動的に調節されます([顔検出設定]、73ページ)。
- お買い上げ時の設定では、動画撮影中に人物の笑顔を検出して、自動的に静止画を記録します([スマイルシャッター]、74ページ)。スマイル検出の対象となる顔にオレンジ枠が付きます。
- 記録した動画から静止画を作成できます(48ページ)。
- (ホーム)ボタン →(撮影)→[動画]をタッチして、撮影モードを切り換えることもできます。

### 撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータとして確認できます（75ページ）。

## 静止画を撮る

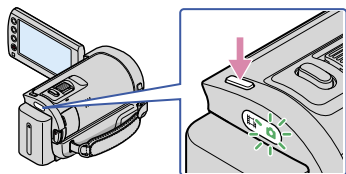
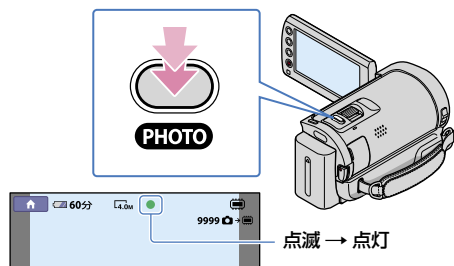
お買い上げ時の設定では、静止画は内蔵メモリーに記録されます（60ページ）。

### 1 レンズカバーを開ける。

### 2 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン（18ページ）を押します。

### 3 MODEボタンを押して、（静止画）ランプを点灯させる。

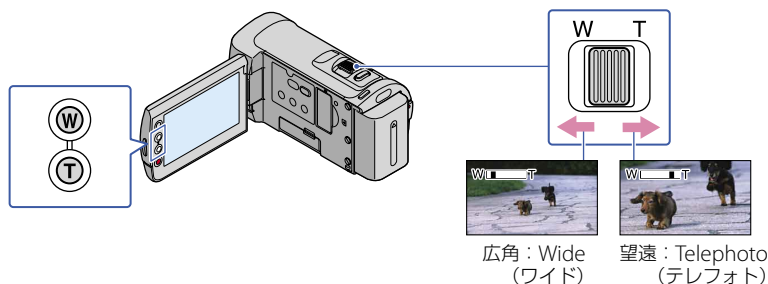
画像の横縦比が4：3になります。

## 4 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。

が消えると記録されます。

- 静止画の撮影可能枚数は101ページをご覧ください。
- 画像サイズは、(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[画像サイズ]→好みの設定→ OK → ↩ → ✕ をタッチして変更できます(70ページ)。
- 動画撮影中にもPHOTOボタンを押して静止画を撮れます([デュアル記録]、31ページ)。
- 表示中は静止画撮影できません。

# 撮るときに便利な機能

## ズームする

10倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

広角：Wide（ワイド）　望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

**ご注意**

- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面横のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

**ちょっと一言**

- [デジタルズーム]（66ページ）を使うと、10倍を超えたズームを使えます。

## 動画を撮りながら静止画を撮る（デュアル記録）

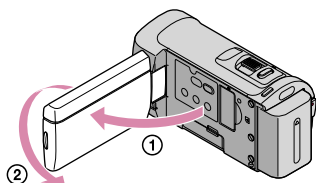
動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、高画素の静止画を撮影できます。

**ご注意**

- 記録メディアの容量不足時や、連続して静止画を撮影すると、 が表示されることがあります。表示されている間は撮影できません。

**ちょっと一言**

- MODEランプが （動画）のとき、静止画の画像サイズは[ 2.3M]（16：9）または[1.7M]（4：3）になります。
- 撮影スタンバイ中は （静止画）ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。

## 自分撮り(対面撮影)する

液晶画面を90°まで開いてから(①)、レンズ側に180°回します(②)。

**ちょっと一言**

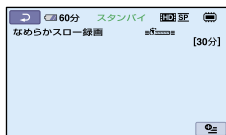
- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

## 速い動作をスローモーションで記録する(なめらかスロー録画)

通常撮影では見ることができない高速な動作や現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

---

### 1 (ホーム)→ (撮影)→[なめらかスロー録画]をタッチする。

---

### 2 START/STOPボタンを押す。

約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。[録画中]が消えると記録が完了します。

---

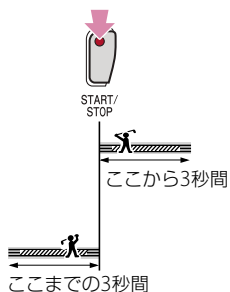
解除するには、 をタッチします。

### 設定を変更するには

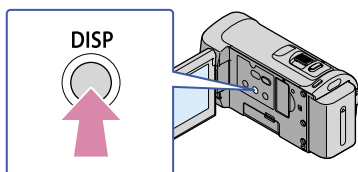
(オプション)→ (設定)タブをタッチして変更したい設定を選ぶ。

### [タイミング]

START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択します(お買い上げ時の設定は[ここから3秒間])。

目次
便利な撮影テクニック
索引

**ご注意**

- [なめらかスロー録画]では音声を記録できません。
- [なめらかスロー録画]の画質は、通常撮影時より劣化します。

## 画面表示、液晶画面バックライトの設定を変える

DISPボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示→非表示と切り換わります。
DISPボタンを  が表示されるまで数秒間押したままにすると、液晶画面バックライトが消えます。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。
録画される画像に影響はありません。
解除するには、 が消えるまでDISPボタンを押したままにします。

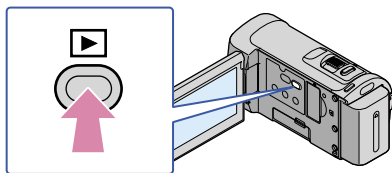
# 本機で見る

お買い上げ時の設定では、内蔵メモリーに記録した動画や静止画を再生します(60ページ)。

## 動画を見る

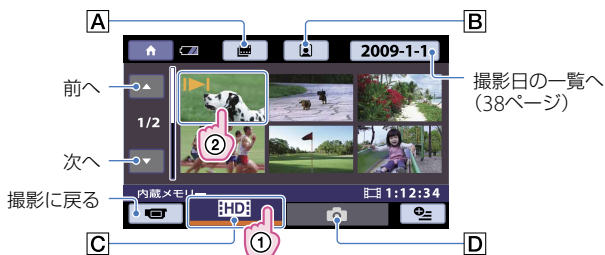
### 1 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。
- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン(18ページ)を押します。

---

### 2 (画像再生)ボタンを押す。

数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。
- 液晶画面の (画像再生)ボタンを押しても同じです。

---

### 3 HD(またはSD)タブ(①)→見たい動画(②)をタッチする。

A : フィルムロールインデックス画面を表示する(37ページ)。
B : フェイスインデックス画面を表示する(37ページ)。
C HD : ハイビジョン画質(HD)で記録した動画を表示する。*
D : 静止画を表示する。

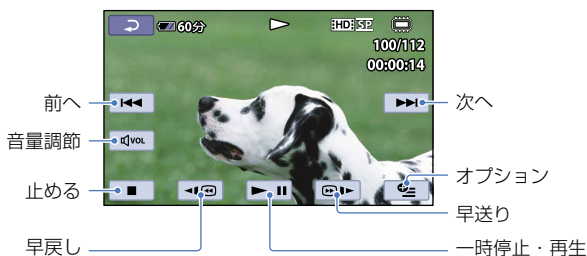
* [HD/SD 設定](65ページ)で標準画質(SD)の動画を選択しているときは、SD が表示されます。



目次
便利な撮影テクニック
索引

- 最後に再生・撮影した動画や静止画に ▶I が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。（"メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画は ▶）

動画の再生が始まります。

---

**ちょっと一言**

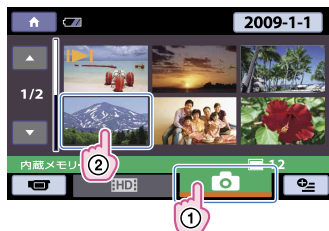
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀I/I▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、◀I/I▶ はタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- （ホーム）→ （画像再生）→［V. インデックス］をタッチして、ビジュアルインデックスを表示することもできます。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、再生時に （ホーム）→ （設定）→［画像再生設定］→［日時/データ表示］→ 好みの設定 → OK → ↩ → ✕ をタッチすると表示できます。

### 音量を調節するには

動画再生中に、VOL（音量調節）→ −/+ で調節 → ↩ をタッチする。

- オプションメニューからも調節できます。

## 静止画を見る

### ビジュアルインデックス画面で、（静止画）タブ（①）→ 見たい静止画（②）をタッチする。

静止画が再生されます。

**ちょっと一言**

- 静止画の記録メディアが"メモリースティック PRO デュオ"のときは、101 ▸(再生フォルダ)が表示されます。

# 見るときに便利な機能

## ピンポイントで見たい場面を探す（フィルムロールインデックス）

撮影した動画を時間間隔で区切ったものがインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。
再生したい動画が記録されている記録メディアを設定しておいてください（60ページ）。

**1** **（画像再生）ボタンを押す。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

**2** **（フィルムロールインデックス）をタッチする。**

ビジュアルインデックス画面に戻る

時間間隔を設定する

**3** **/ をタッチして、見たい動画を選ぶ。**

**4** **/ をタッチして表示された場面の中から、再生したい場面をタッチする。**

選んだ場面から再生されます。

**ちょっと一言**

- （ホーム）→（画像再生）→［ フィルムロール］をタッチして、フィルムロールインデックスを表示することもできます。

## 顔画像から見たい場面を探す（フェイスインデックス）

撮影時に検出した人物の顔画像がインデックス画面で表示されます。
選んだ顔画像からの動画を再生できます。
再生したい動画が記録されている記録メディアを設定しておいてください（60ページ）。

## 1 (画像再生)ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

## 2 (フェイスインデックス)をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

## 3 / をタッチして、見たい動画を選ぶ。

## 4 / をタッチして表示された顔画像の中から、再生したい場面の顔画像をタッチする。

選んだ顔画像の場面から再生されます。

**ご注意**

- 撮影状況によっては顔が検出されない場合があります。
  例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など
- フェイスインデックスから見るには、[顔検出]をあらかじめ[入]（お買い上げ時の設定）にして撮影してください（73ページ）。

**ちょっと一言**

- (ホーム)→ (画像再生)→ [ フェイス]をタッチして、フェイスインデックスを表示することもできます。

## 撮影日から画像を探す（日付インデックス）

撮影日から効率よく画像を探すことができます。
再生したい画像が記録されている記録メディアを設定しておいてください（60ページ）。

**ご注意**

- 日付インデックスは、"メモリースティック PRO デュオ"の静止画では利用できません。

## 1 (画像再生)ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

## 2 動画を探しているときは HD または SD タブを、静止画のときは (静止画)タブをタッチする。

## 3 液晶画面上の日付表示をタッチする。

画像の撮影日が表示されます。

ビジュアルインデックス画面に戻る

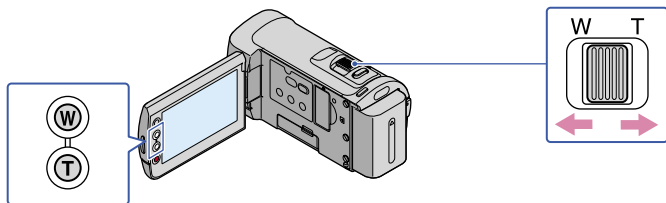
## 4 ▲/▼ をタッチして見たい画像の撮影日を選び、OK をタッチする。

選んだ日付に撮影した画像が表示されます。

**ちょっと一言**

- フィルムロールインデックスやフェイスインデックスでも手順3 ～ 4の操作で日付インデックスが使えます。

## 静止画を再生ズームする

静止画を1.1 ～ 5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

## 1 拡大したい静止画を表示する。

## 2 T(望遠)で静止画を拡大する。

画面に枠が表示されます。



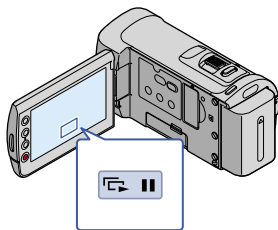
目次
便利な撮影テクニック
索引

## 3 画面中央に表示したい部分をタッチする。

タッチした部分が画面中央に移動します。

## 4 W(広角)/T(望遠)で静止画の大きさを調節する。

終了するには、[アイコン]をタッチします。

## 静止画を連続再生する(スライドショー)

### 静止画再生画面で、[アイコン]をタッチする。

選んだ静止画からスライドショーが始まります。

### 中止するには

[アイコン]をタッチする。

### 再開するには

もう一度[アイコン]をタッチする。

**ご注意**

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

**ちょっと一言**

- ビジュアルインデックス画面の[アイコン](オプション)→[アイコン]タブ→[スライドショー]でもスライドショー再生できます。
- 静止画再生中に、[アイコン](オプション)→[アイコン]タブ→[スライドショー設定]で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます(お買い上げ時は[入])。

# テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画質（ハイビジョン（HD）/標準（SD））が異なります。メニューの[テレビ接続ガイド]が、お使いのテレビにあった接続方法を教えてくれます。

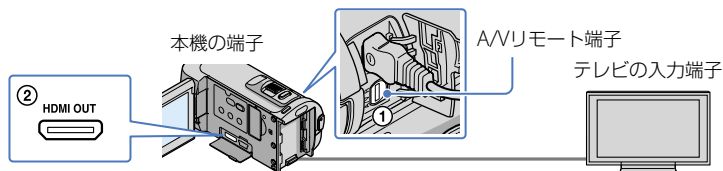
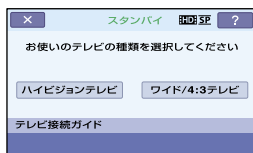
## [テレビ接続ガイド]を使ってテレビにつなぐ

### 1 テレビの入力設定を切り換える。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

### 2 本機の電源を入れ、液晶画面で （ホーム）→ （その他の機能）→[テレビ接続ガイド]の順にタッチする。

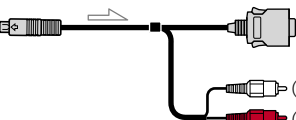
- 画面にないときは、▲/▼をタッチして表示させてください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。

### 3 [テレビ接続ガイド]の指示に従って、テレビにつなぐ。

- A/V接続ケーブルを使って接続すると、出力される画質は標準画質（SD）になります。

### 4 本機で動画、静止画を再生する（34ページ）。

## ハイビジョンテレビとつなぐ

：信号の流れ

| 接続方法 | 本機の端子 | 必要なケーブル | テレビの端子 | ホームメニューの設定 |
|---|---|---|---|---|
| A | | ① D端子A/Vケーブル(付属) | コンポーネント映像入力(D3/D4/D5)<br>音声 | (設定)<br>→[出力設定]<br>→[コンポーネント出力]<br>→[D3](80ページ) |

(白)
(赤)

**ご注意**

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

---

：信号の流れ

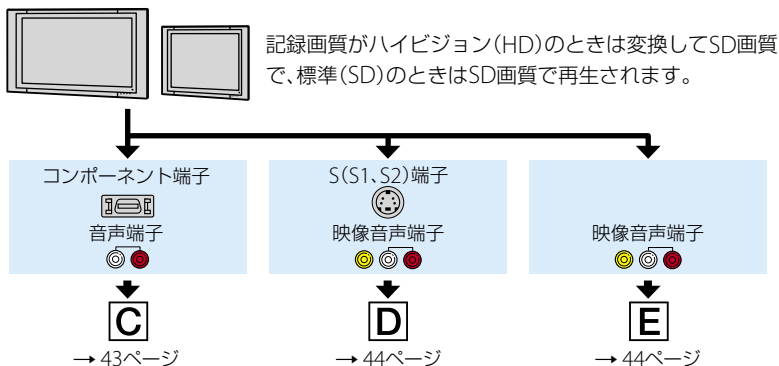
| 接続方法 | 本機の端子 | 必要なケーブル | テレビの端子 | ホームメニューの設定 |
|---|---|---|---|---|
| B | | ② HDMIケーブル(別売) | HDMI入力 | |

**ご注意**

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。

- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。

## ハイビジョン非対応のワイドテレビ/4:3テレビとつなぐ

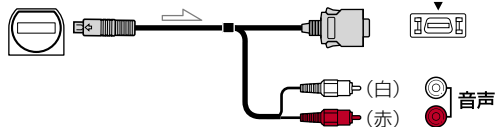
記録画質がハイビジョン(HD)のときは変換してSD画質で、標準(SD)のときはSD画質で再生されます。

### テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の横縦比を変えるには

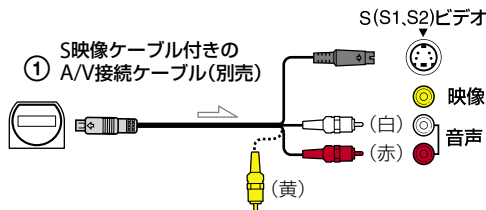
お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[TVタイプ]を[16:9]または[4:3]に設定してください(79ページ)。

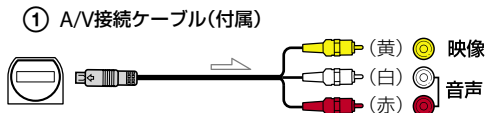
**ご注意**

- 標準画質(SD)で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に (ホーム)→ (設定)→[動画撮影設定]→[ワイド切換]→[4:3]→ OK → → をタッチして、4:3で撮影してください(66ページ)。

：信号の流れ

| 接続方法 | 本機の端子 | 必要なケーブル | テレビの端子 | ホームメニューの設定 |
|---|---|---|---|---|

**ご注意**

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

**ご注意**

- S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル(接続 E)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

## ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

## モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

**ご注意**

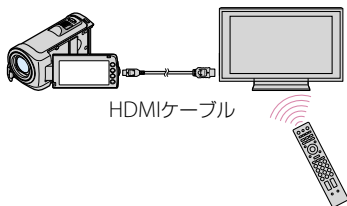
- A/V接続ケーブルを使って映像を出力すると、出力される画質は標準画質(SD)になります。

**ちょっと一言**

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI→コンポーネント→S(S1、S2)映像→映像端子の順で優先されます。

- HDMI（High Definition Multimedia Interface）とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

## ブラビアリンクを使う

本機とブラビアリンクに対応のテレビ*をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンで操作できます。

* 2008 年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビで使用できます。

---

### 1 本機とブラビアリンクに対応したテレビをHDMIケーブル（別売）でつなぐ。

---

### 2 本機の電源を入れる。

テレビの入力が自動で切り替わり、本機の映像が表示されます。

---

### 3 テレビのリモコンを操作する。

下記のような操作ができます。

- リンクメニューボタンで（ホーム）のHD（画像再生）画面を表示する。
- 上/下/左/右決定ボタンで、ビジュアルインデックスなどのインデックス画面を表示したり、動画/静止画のお好みの画面を再生したりする。

---

**ご注意**

- リモコンでは一部の操作が行えないことがあります。
- 本機を設定するには、（ホーム）→（設定）→[一般設定]→[HDMI機器制御]→[入]（お買い上げ時の設定）→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。
- テレビ側の設定も必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

**ちょっと一言**

- テレビの電源を切ると、本機も連動して電源が切れます。

# 動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。あらかじめ、削除したい動画・静止画が保存されている記録メディアを設定してください(60ページ)。動画の場合は、画質も設定してください(65ページ)。

**ご注意**

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- “メモリースティック PRO デュオ”に記録した画像の削除中は“メモリースティック PRO デュオ”を抜かないでください。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(51ページ)。
- 削除した動画がプレイリスト(53ページ)に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください(56ページ)。

**ちょっと一言**

- 1度に100個までの画像を選べます。
- 画像の再生画面の (オプション)からも削除できます。
- 記録メディアに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(63ページ)。
- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

## 1 (ホーム)→ (その他の機能)→[削除]をタッチする。

## 2 動画を削除するときは[ 削除]→[HD 削除]または[SD 削除]をタッチする。

- 静止画を削除するときは[■ 削除]→[■ 削除]をタッチする。

## 3 削除したい動画・静止画をタッチして、✓を付ける。

**ちょっと一言**

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

## 4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

### 動画・静止画をすべて削除するには

手順2で[ 削除]→[HD 全削除]/[SD 全削除]→[はい]→[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

- 静止画をすべて削除するときは[■ 削除]→[■ 全削除]→[はい]→[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

### 動画・静止画を日付ごとにまとめて削除するには

静止画の日付指定削除は、記録メディアが内蔵メモリーのときのみ有効です。

① 手順2で[ 削除]→[HD 日付指定削除]/[SD 日付指定削除]をタッチする。

- 静止画を日付ごとにまとめて削除するときは[■ 削除]→[■ 日付指定削除]をタッチする。

② [▲]/[▼] をタッチして、削除したい動画・静止画の撮影日を選んで、[OK] をタッチする。
選択された日付の動画・静止画が表示されます。

**ちょっと一言**

- サムネイルをタッチするとプレビューできます。[↩] で選択画面に戻ります。

③ [OK] →[はい] → [OK] → [X] をタッチする。

# 動画から静止画を作る

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。
動画が記録されている記録メディアと画質、静止画を記録する記録メディアを設定しておいてください（60、65ページ）。

## 1

**（ホーム）→ （その他の機能）→［動画から静止画作成］をタッチする。**

［動画から静止画作成］画面が表示されます。

## 2

**静止画を切り出したい動画をタッチする。**

選んだ動画が再生されます。

## 3

**静止画にしたい場面で ►II をタッチする。**

再生が一時停止します。►II を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

►II で場面を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

## 4

**OK をタッチする。**

［静止画メディア設定］（60ページ）で設定されている記録メディアに記録されます。

静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

- 続けて静止画を作成するには、►II をタッチしてから、手順3以降を行う。
- 別の動画を選ぶには、 をタッチして手順2から行う。

## 5

** → をタッチする。**

**ご注意**

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - ハイビジョン画質（HD）のときは［ 2.1M］
  - 標準画質（SD）でワイド（16：9）のときは［ 0.2M］
  - 標準画質（SD） 4：3のときは［VGA（0.3M）］
- 静止画を記録する記録メディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

# 内蔵メモリーから“メモリースティック PRO デュオ”に動画・静止画をダビング・コピーする

## 動画をダビングする

本機の内蔵メモリーに撮影した動画を、“メモリースティック PRO デュオ”にダビングできます。
“メモリースティック PRO デュオ”を本機に入れておいてください。

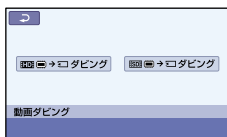
**ご注意**

- 初めて“メモリースティック PRO デュオ”に動画を記録するときは、(ホーム)→(メディア管理)→[管理ファイル修復]→[メモリースティック]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

**ちょっと一言**

- ダビングしても、元の動画は削除されません。
- プレイリストをダビングすると、含まれる全画像がダビングされます。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

**1** (ホーム)→(その他の機能)→[動画ダビング]をタッチする。

[動画ダビング]画面が表示されます。

**2** ダビングしたい動画の画質をタッチする。

[HD →ダビング]：
ハイビジョン画質(HD)の動画をダビングする。
[SD →ダビング]：
標準画質(SD)の動画をダビングする。

**3** ダビングの種類をタッチする。

[選択ダビング]：動画を選んでダビングする。
[日付ダビング]：動画を指定した日付ごとダビングする。
[HD 全ダビング]：ハイビジョン画質(HD)のプレイリストをダビングする。
[SD 全ダビング]：標準画質(SD)のプレイリストをダビングする。
ダビング元にプレイリストを選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

**4** ダビングする動画を選ぶ。

[選択ダビング]：ダビングする動画をタッチして、✓マークをつける。
複数選択できます。

“メモリースティック PRO デュオ”の残量の目安

**ちょっと一言**

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。で選択画面に戻ります。

[日付ダビング]：ダビングする日付を選んで、OK をタッチする。
複数の日付は選べません。

5 OK →[はい]→ OK → ☒ をタッチする。

**ちょっと一言**

- ダビングができているかを確認するには、[動画メディア設定]で[メモリースティック]を設定して確認してください(60ページ)。

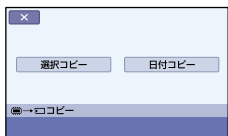
## 静止画をコピーする

本機の内蔵メモリーに保存した静止画を"メモリースティック PRO デュオ"にコピーします。
コピー先の"メモリースティック PRO デュオ"を本機に入れておいてください。

**ご注意**

- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 (ホーム)→ (その他の機能)→[静止画コピー]をタッチする。

[静止画コピー]画面が表示されます。

2 コピーの種類をタッチする。

[選択コピー]：静止画を選んでコピーする。
[日付コピー]：指定した日付の静止画をまとめてコピーする。

3 コピーする静止画を選ぶ。

[選択コピー]：コピーする静止画をタッチして、✔マークをつける。
複数選択できます。

**ちょっと一言**

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

[日付コピー]：コピーする日付を選んで、OK をタッチする。
複数の日付は選べません。

4 OK →[はい]→ OK → ☒ をタッチする。

**ちょっと一言**

- コピーができているかを確認するには、[静止画メディア設定]で[メモリースティック]を設定して確認してください(60ページ)。

# 記録した画像を保護する(プロテクト)

誤って動画・静止画を削除してしまうことを防げます。
あらかじめ、保護したい動画・静止画が保存されている記録メディアを設定してください(60ページ)。動画の場合は、画質も設定してください(65ページ)。

**ちょっと一言**

- 動画・静止画の再生画面の (オプション)からもプロテクトできます。

## 1 (ホーム)→ (その他の機能)→[編集]をタッチする。

## 2 動画をプロテクトするときは[ プロテクト]→[HD プロテクト]/[SD プロテクト]をタッチする。

- 静止画をプロテクトするときは[ プロテクト]→[ プロテクト]をタッチする。

## 3 プロテクトする動画・静止画をタッチする。

画像に マークがつく。

**ちょっと一言**

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。 で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

## 4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

### プロテクトを解除するには

手順3で マークがついている動画・静止画をタッチする。
マークが消えます。

### 撮影した日付ごとにまとめてプロテクトするには

静止画の日付指定プロテクトは、記録メディアが内蔵メモリーのときのみ有効です。

① 手順2で[ プロテクト]→[HD 日付プロテクト]/[SD 日付プロテクト]をタッチする。
- 静止画を日付ごとにまとめてプロテクトするときは[ プロテクト]→[ 日付プロテクト]をタッチする。

② ▲/▼ をタッチして、プロテクトしたい動画・静止画の撮影日を選んで、OK をタッチする。

**ちょっと一言**

- サムネイルをタッチすると、プレビューできます。 で選択画面に戻ります。

③ OK →[入]→ OK → ✕ をタッチする。

### 撮影した日付ごとにプロテクトを解除するには

手順②でプロテクトを解除したい動画・静止画の撮影日を選んで、OK →[切]→ OK → ✕ をタッチする。

目次
便利な撮影テクニック
索引

# 動画を分割する

分割したい動画が記録されている記録メディアと画質を設定しておいてください(60、65ページ)。

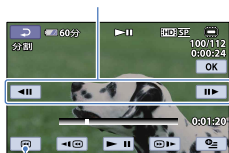
## 1 (ホーム)→ (その他の機能)→[編集]→[ 分割]をタッチする。

## 2 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

## 3 分割したいところで ►II をタッチする。

再生が一時停止します。►II を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

►II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

## 4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

### ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、"メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画の分割中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、►II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。

### ちょっと一言

- 動画の再生画面の (オプション)からも分割できます。

# 動画のプレイリストを使う

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。
プレイリストを作成、再生、編集する記録メディアと画質を設定しておいてください（60、65ページ）。

## プレイリストを作る

**ご注意**

- ハイビジョン画質（HD）の動画と標準画質（SD）の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

**1** （ホーム）→（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

**2** ［HD 追加］/［SD 追加］をタッチする。

**3** 追加したい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

**ちょっと一言**

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。［↩］で選択画面に戻ります。

**4** ［OK］→［はい］→［OK］→［✕］をタッチする。

### 動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

① 手順2で［HD 日付指定追加］/［SD 日付指定追加］をタッチする。
日付選択画面が表示されます。

② ▲/▼ をタッチして、追加したい動画の撮影日を選んで、［OK］をタッチする。
選択された日付の動画が表示されます。

**ちょっと一言**

- サムネイルをタッチするとプレビューできます。［↩］で選択画面に戻ります。

③ ［OK］→［はい］→［OK］→［✕］をタッチする。

**ご注意**

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、"メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画の追加中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

**ちょっと一言**

- ハイビジョン画質（HD）と標準画質（SD）が混在したプレイリストは作成できません。
- プレイリストにはハイビジョン画質（HD）で999個、標準画質（SD）で99個までの動画を追加できます。
- 動画の再生画面やインデックス画面から、（オプション）をタッチして追加することもできます。

- 付属のソフトウェアを使って、プレイリストをそのままディスクにコピーすることができます。

## プレイリストを再生する

プレイリストを作成、再生、編集する記録メディアを設定しておいてください(60ページ)。

### 1 (ホーム)→ (画像再生)→[プレイリスト]をタッチする。

プレイリストに追加された動画が表示されます。

### 2 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

### 追加した動画をプレイリストから消去するには

① (ホーム)→ (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [HD 消去]/[SD 消去]をタッチする。
すべての動画を一括して消去するには、[HD 全消去]/[SD 全消去]→[はい]→[はい]→ OK をタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

**ちょっと一言**
- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

④ OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

**ちょっと一言**
- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。

### 追加した動画を並べ換えるには

① (ホーム)→ (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [HD 移動]/[SD 移動]をタッチする。

③ 移動させたい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

**ちょっと一言**
- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

④ OK をタッチする。

⑤ ←/→ で移動先を選ぶ。

移動先表示

⑥ OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

**ちょっと一言**

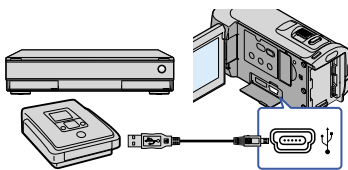
- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

# DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る

## DVDライターなどでハイビジョン画質（HD）のディスクを作る（USBケーブル接続）

本機とソニー製DVDライターや、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器をUSBケーブルで接続して、ハイビジョン画質（HD）の動画をディスクに保存できます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ここでは、USBケーブルで本機とソニー製DVDライターを接続してディスクを作る操作を説明します。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（17ページ）。

**1 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機の ψ（USB）端子とDVDライターなどをつなぐ。**

［USB機能選択］画面が表示されます。

- ［USB機能選択］画面が表示されないときは、（ホーム）→ （その他の機能）→［USB接続］をタッチして表示させてください。

**2 本機の画面で、動画が内蔵メモリーに保存されているときは［ USB接続］を、"メモリースティック PRO デュオ"のときは［ USB接続］をタッチする。**

**3 接続先機器で録画操作を行う。**

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

**4 ディスク作成が終わったら、本機の画面で［終了］→［はい］をタッチする。**

**5 USBケーブルを取りはずす。**

**ご注意**

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

## レコーダーなどで標準画質（SD）のディスクを作る（A/V接続ケーブル接続）

本機をディスクレコーダーや、ソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへダビングできます。下図の1か2どちらかの方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。あらかじめ、ダビングする画像を保存した記録メディアと画質を選んでおいてください（60、65ページ）。

**ご注意**

- 本機の電源は、AC アダプターを使ってコンセントから取ってください（17ページ）。
- ハイビジョン画質（HD）で記録された画像は、標準画質（SD）でダビングされます。

1 A/V接続ケーブル(付属)
他機の入力端子につなぎます。

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)
S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

**1** **録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。**

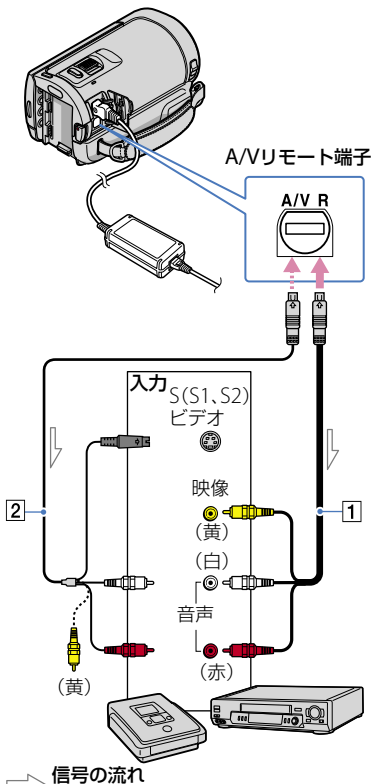
- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

**2** **本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル 1 (付属)、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル 2 (別売)でつなぐ。**

- 接続先機器の入力端子につないでください。

**3** **本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。**

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

**4** **ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

**ご注意**

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、(ホーム)→(設定)→[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル](お買い上げ時の設定)→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、(ホーム)→(設定)→[画像再生設定]→[日時/データ表示]→お好みの設定→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。また、(ホーム)→(設定)→[出力設定]→[画面表示出力]→[ビデオ出力/パネル]→ OK → ↩ → ✕をタッチしてください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、(ホーム)→(設定)→[出力設定]→[TVタイプ]→[4:3]→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映

像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

# バッテリー情報を確認する

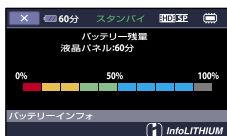
装着しているバッテリーの残量の目安を確認できます。

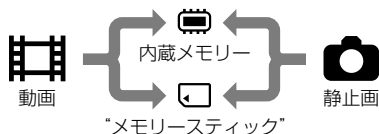
## （ホーム）→ （その他の機能）→[バッテリーインフォ]の順にタッチする。

バッテリー残量が表示されます。

### 終了するには

[×] をタッチする。

目次
便利な撮影テクニック
索引

# 記録メディアを変える

本機は、記録、再生、編集する記録メディアを、動画・静止画ごとに内蔵メモリーまたは"メモリースティック PRO デュオ"に設定できます。お買い上げ時の設定では、動画・静止画ともに内蔵メモリーに記録されます。

- 設定した記録メディアに保存されている画像が、記録、再生、編集されます。
- 動画の撮影可能時間は100ページをご覧ください。
- 静止画の撮影可能枚数は、101ページをご覧ください。

## 動画の記録メディアを変える

**1 (ホーム)→(メディア管理)→[動画メディア設定]をタッチする。**

[動画メディア設定]画面が表示されます。

**2 希望の記録メディアをタッチする。**

**3 [はい]→ OK をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

## 静止画の記録メディアを変える

**1 (ホーム)→(メディア管理)→[静止画メディア設定]をタッチする。**

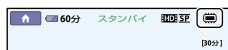
[静止画メディア設定]画面が表示されます。

**2 希望の記録メディアをタッチする。**

**3 [はい]→ OK をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

### 記録メディアを確かめるには

動画の記録メディアを確かめるには、(動画)ランプを点灯させます。静止画は、(静止画)ランプを点灯させます。画面右上に、設定されている記録メディアが表示されます。

：内蔵メモリー
：“メモリースティック PRO デュオ”

## “メモリースティック PRO デュオ”を入れる

- “メモリースティック PRO デュオ”に動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを[メモリースティック]に設定してください(60ページ)。

### 本機で使える“メモリースティック PRO デュオ”

- 動画撮影時は、1GB以上の次のマークが付いた“メモリースティック PRO デュオ”の使用をおすすめします。

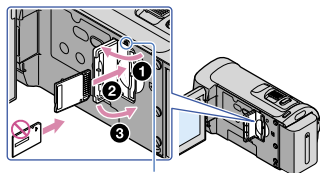
– MEMORY STICK PRO DUO（"メモリースティック PRO デュオ"）*
– MEMORY STICK PRO-HG DUO（"メモリースティック PRO-HG デュオ"）
 * Mark2表示があるものとないもの両方を使えます。
- "メモリースティック PRO デュオ" 1枚あたりの撮影可能時間は、100ページをご覧ください。
- 使用可能な"メモリースティック"の最新情報につきましてはホームページ上の「"メモリースティック"対応表」をご確認ください（115ページ）。

### "メモリースティック PRO デュオ" /"メモリースティック PRO-HG デュオ"（本機で使用するサイズ）

### "メモリースティック"（本機では使用できません）

- 上記以外のメモリーカードは使用できません。
- "メモリースティック PRO デュオ"は"メモリースティック PRO"対応機器でのみ使用可能です。
- "メモリースティック PRO デュオ"本体および"メモリースティック デュオ"アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合、"メモリースティック PRO デュオ"を"メモリースティック デュオ"アダプターに入れてからお使いください。

### 1 "メモリースティック デュオ"カバーを開き、"メモリースティック PRO デュオ"を「カチッ」というまで押し込む。

- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック PRO デュオ"や"メモリースティック デュオ"スロット、画像データが破損することがあります。
- 入れた後は"メモリースティック デュオ"カバーを閉じてください。

（動画）ランプの点灯中に新しい"メモリースティック PRO デュオ"を入れたときは、[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

### 2 [はい]をタッチする。

- "メモリースティック PRO デュオ"に静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチします。

**ご注意**

- 手順2で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量が足りない可能性があります]と表示されたときは、"メモリースティック PRO デュオ"を初期化してください（63ページ）。

### "メモリースティック PRO デュオ"を取り出すには

"メモリースティック デュオ"カバーを開き、"メモリースティック PRO デュオ"を軽く1回押して取り出します。

- 撮影中に"メモリースティック デュオ"カバーを開けないでください。
- 出し入れ時には"メモリースティック PRO デュオ"の飛び出しにご注意ください。

# メディア情報を確認する

[動画メディア設定]（60ページ）で選択している記録メディアの録画モードごとの録画可能時間や、記録メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

**ご注意**

- かんたん操作中はメディア情報を確認できません。かんたん操作を解除してください。

---

## （ホーム）→ （メディア管理）→[メディア情報]の順にタッチする。

録画モードごとの録画可能時間が表示されます。

**ちょっと一言**

- 画面右下の をタッチすると、残りの記憶容量などを確認できます。

---

### 終了するには

をタッチする。

**ご注意**

- 記録メディアの容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されます。そのため、内蔵メモリーの使用領域と空き領域を足しても、16,000MBより若干小さい数値が表示されます。
- 管理ファイル用領域があるため、[メディア初期化]（63ページ）を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

**ちょっと一言**

- [動画メディア設定]（60ページ）で設定している記録メディアの情報が表示されます。必要に応じて記録メディアを切り換えてください。

# 動画・静止画をすべて削除する（初期化）

初期化とはメディア内の動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

**ご注意**

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（17ページ）。
- 大切な画像は保存してから（56ページ、および取扱説明書をご覧ください）、[メディア初期化]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 **（ホーム）→ （メディア管理）→[メディア初期化]をタッチする。**

2 **初期化する記録メディア（[内蔵メモリー]または[メモリースティック]）をタッチする。**

3 **[はい]→[はい]→ OK をタッチする。**

**ご注意**

- [実行中]が表示されているときは、液晶画面の開閉やボタンを操作したり、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したり、ACアダプターをはずしたりしないでください（初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します）。

# 内蔵メモリー上のデータを復元しにくくする

本機の内蔵メモリーに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。本機を廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐために[ データ消去]を行うことをおすすめします。

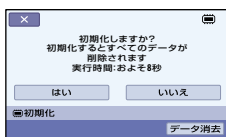
**ご注意**

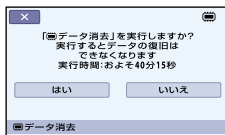
- [ データ消去]を行うと、画像はすべて消去されます。大切な画像データは保存(56ページ、および取扱説明書をご覧ください)してから、[ データ消去]を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、[ データ消去]を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類ははずしてください。実行中はACアダプターをはずさないでください。
- [ データ消去]中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

## 1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

## 2 液晶画面を開いて、本機の電源を入れる。

## 3 (ホーム)→ (メディア管理)→[メディア初期化]→[内蔵メモリー]の順にタッチする。

[ 初期化]の画面が表示されます。

## 4 [データ消去]をタッチする。

[ データ消去]の画面が表示されます。

## 5 [はい]→[はい]→ OK をタッチする。

**ご注意**

- [ データ消去]の実行時間は約40分です。
- [実行中]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[メディア初期化]または[ データ消去]を実行して完了させてください。

目次

便利な撮影テクニック

索引

# 動画撮影設定(動画を撮影するときの設定)

▶はお買い上げ時の設定です。

## HD/SD 設定

記録、再生、編集する画質をハイビジョン画質(HD)、標準画質(SD)から選ぶことができます。

**設定方法**
**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[HD/SD 設定]→好みの設定→[はい]→ OK**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | HD 画質 | 記録、再生、編集する画質をハイビジョン画質(HD)に設定する。 |
| | SD 画質 | 記録、再生、編集する画質を標準画質(SD)に設定する。 |

**ちょっと一言**
- 設定した画質でのみ、記録、再生、編集が可能です。別の画質で記録、再生、編集したいときは、画質を設定し直してください。

## 録画モード

**設定方法**
**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[録画モード]→好みの設定→ OK → ↩ → ✕**

ハイビジョン画質(HD)で動画を撮影するときの画質を4段階から選べます。
動きが速い被写体を撮るときは、[FH]など高画質設定にすることをおすすめします。

| | | |
|---|---|---|
| | HD FH(HD FH) | 最高画質で録画する。(AVC HD 16M (FH))*1 |
| | HD HQ(HD HQ) | 高画質で録画する。(AVC HD 9M (HQ))*2 |
| ▶ | HD SP(HD SP) | 標準画質で録画する。(AVC HD 7M (SP))*2 |
| | HD LP(HD LP) | 長時間録画する。(AVC HD 5M (LP))*2 |

*1 AVCHD規格の1920×1080/60iで撮影します。
*2 AVCHD規格の1440×1080/60iで撮影します。

標準画質(SD)*3で動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

| | | |
|---|---|---|
| | SD HQ(SD HQ) | 高画質で録画する。(SD 9M (HQ)) |
| ▶ | SD SP(SD SP) | 標準画質で録画する。(SD 6M (SP)) |
| | SD LP(SD LP) | 長時間録画する。(SD 3M (LP)) |

*3 MPEG2規格で撮影します。

**ご注意**

- LPモードで録画した動画を再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

**ちょっと一言**

- 各モードの録画時間の目安は、100ページをご覧ください。
- 記録メディアごとに設定ができます。
- 表の16Mなどの数値は、平均ビットレートです。「M」は「Mbps」のことです。

## ワイド切換

標準画質（SD）で記録するときに、つなぐテレビの画像の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→[動画撮影設定]→[ワイド切換]→ 好みの設定 → OK → ↩ → ✕**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **16:9 ワイド** | ワイド（16:9）テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。 |
| | 4:3（4:3） | 4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。 |

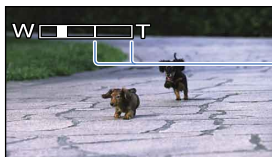
**ご注意**

- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください（79ページ）。

## デジタルズーム

撮影時に、10倍光学ズームを超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→[動画撮影設定]→[デジタルズーム]→ 好みの設定 → OK → ↩ → ✕**

ラインよりT側がデジタルズームになります。
倍率を選ぶと表示されます。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | 10倍光学ズームのみ |
| | 20× | 10倍光学ズーム＋最大20倍までのデジタルズーム |
| | 120× | 10倍光学ズーム＋最大120倍までのデジタルズーム |

目次
便利な撮影テクニック
索引

## 手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。
三脚を利用するときは、[切]（）にすると自然な画像になります。

**設定方法**
**（ホーム）→（設定）→[動画撮影設定]→[手ブレ補正]→好みの設定→**
OK → ↩ → ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | 手ブレ補正機能を使う。 |
| | **切（）** | 手ブレ補正機能を使わない。 |

## オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。

**設定方法**
**（ホーム）→（設定）→[動画撮影設定]→[オートスロシャッタ]→**
**好みの設定→** OK → ↩ → ✕

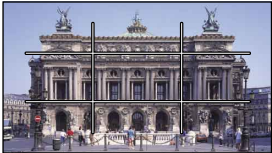
| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | オートスローシャッターを使う。 |
| | **切** | オートスローシャッターを使わない。 |

## X.V.COLOR

より広い色域で記録できます。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

**設定方法**
**（ホーム）→（設定）→[動画撮影設定]→[X.V.COLOR]→好みの設定→**
OK → ↩ → ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | 通常の色域で撮影する。 |
| | **入（COLOR）** | x.v.Colorで撮影する。 |

**ご注意**

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは、あらかじめ[入]にして撮影してください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
  – 標準画質（SD）で記録するとき
  – 動画を撮影中

## ガイドフレーム

フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。DISPボタンを押すと、フレームを消せます。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[ガイドフレーム]→好みの設定→OK→↩→×**

| ▶ | 切 | ガイドフレームを表示しない。 |
|---|---|---|
| | 入 | ガイドフレームを表示する。 |

**ちょっと一言**

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

## 残量表示設定

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[残量表示設定]→好みの設定→OK→↩→×**

| ▶ | 入 | 記録メディア残量を常に表示する。 |
|---|---|---|
| | オート | 次のときに動画の撮影可能時間を約8秒間表示する。<br>－ (動画)ランプ点灯時に記録メディア残量を認識したとき<br>－ (動画)ランプ点灯時に、DISPボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき<br>－ ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき |

**ご注意**

- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

## アクセサリーレンズ

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。
コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスを最適化します。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[アクセサリーレンズ]→好みの設定→OK→↩→×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | コンバージョンレンズを使わない。 |
| | **ワイコンレンズ(W)** | ワイドコンバージョンレンズを使う。 |
| | **テレコンレンズ(T)** | テレコンバージョンレンズを使う。 |

## 自動逆光補正

自動で逆光補正をします。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[動画撮影設定]→[自動逆光補正]→好みの設定→**
OK → ↩ → ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | 自動で逆光補正を行う。 |
| | **切** | 逆光補正を行わない。 |

# 静止画撮影設定（静止画を撮影するときの設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## ▣ 画像サイズ

撮影する静止画のサイズを選びます。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[▣ 画像サイズ]→好みの設定**

**→ OK → ↩ → ✕**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 4.0M(4.0M) | 鮮明な画像を撮影する（2304 × 1728）。 |
| | 3.0M(3.0M) | 鮮明な画像をワイド（16:9）で撮影する（2304 × 1296）。 |
| | 1.9M(1.9M) | 比較的きれいな画像をたくさん撮影する（1600 × 1200）。 |
| | VGA(0.3M)(VGA) | たくさんの画像を撮影する（640×480）。 |

**ご注意**

- 設定した画像サイズは、(静止画)ランプ点灯時に有効です。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。
- 撮影可能枚数は101ページをご覧ください。

## ファイルナンバー

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

**設定方法**

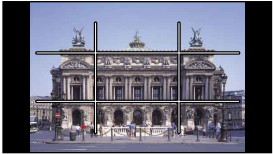
**(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[ファイルナンバー]→好みの設定 → OK → ↩ → ✕**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **連番** | 静止画のファイル番号を連続して付ける。<br>－ 撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなります。<br>－ “メモリースティック PRO デュオ”を取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付きます。 |
| | **リセット** | 現在の記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。<br>－ “メモリースティック PRO デュオ”を取り換えた場合は、“メモリースティック PRO デュオ”ごとにファイル番号が付きます。 |

## オートスロシャッタ(オートスローシャッター)

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[オートスロシャッタ]→好みの設定→OK→↩→×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | オートスローシャッターを使う。 |
| | **切** | オートスローシャッターを使わない。 |

## ガイドフレーム

フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。DISPボタンを押すと、フレームを消せます。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[ガイドフレーム]→好みの設定→OK→↩→×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | ガイドフレームを表示しない。 |
| | **入** | ガイドフレームを表示する。 |

**ちょっと一言**

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

## アクセサリーレンズ

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。
コンバージョンレンズに合わせて、フォーカスを最適化します。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[アクセサリーレンズ]→好みの設定→OK→↩→×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | コンバージョンレンズを使わない。 |
| | **ワイコンレンズ(W)** | ワイドコンバージョンレンズを使う。 |
| | **テレコンレンズ(T)** | テレコンバージョンレンズを使う。 |

## 自動逆光補正

自動で逆光補正をします。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[静止画撮影設定]→[自動逆光補正]→ 好みの設定 → OK → ↩ → ×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | 自動で逆光補正を行う。 |
| | **切** | 逆光補正を行わない。 |

# 顔機能設定（顔機能に関する設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## 顔検出設定

顔検出に関する設定ができます。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→［顔機能設定］→［ 顔検出設定］→［顔検出］/［顔枠表示設定］→ 好みの設定 → OK → ↩ → ↩ → ✕**

### 顔検出

人物の顔を検出して、顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。また、ハイビジョン画質（HD）のときはさらに、顔部分が細密な画像になるように調整します。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 入（[👤]） | 顔検出する。 |
| | 切 | 顔検出しない。 |

**ご注意**

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、［顔検出］を［切］にしてください。

**ちょっと一言**

- 検出した顔はフェイスインデックスに登録されます。ただし、すべてが登録されるわけではありません。また、フェイスインデックスに登録できる数には限りがあります。フェイスインデックス画面で再生するには37ページをご覧ください。

### 顔枠表示設定

［顔検出］/［スマイル検出設定］で人物の顔を検出したときの顔枠の表示/非表示を設定します。

オレンジ色の枠：笑顔を検出する対象の顔

白色の枠：顔を検出

スマイル検出設定

顔検出

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 入 | 顔枠を表示する。 |
| | 切 | 顔枠を表示しない。 |

**ご注意**

- 対面撮影（32ページ）時は、枠は表示されません。

## スマイルシャッター

スマイルシャッターに関する設定ができます。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→［顔機能設定］→［ スマイルシャッター］→［スマイル検出設定］/［スマイル検出感度］/［優先被写体設定］/［顔枠表示設定］→ 好みの設定 → OK → ↩ → ↩ → ×**

### スマイル検出設定

笑顔を検出すると自動で静止画を撮影します。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **動画録画中のみ（）** | 動画録画中のみ笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影する。 |
| | **常時（）** | 静止画撮影可能状態時に笑顔を検出して自動的に静止画を撮影する。 |
| | **切** | 笑顔を検出しないため、静止画を自動撮影しない。 |

**ご注意**

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- ［動画録画中のみ］を選択したとき、動画撮影スタンバイ中は、撮影画面上にが表示されます。動画撮影を開始すると、撮影画面上のアイコンがに切り替わります。

**ちょっと一言**

- 笑顔が検出されない場合は、［ スマイル検出感度］（74ページ）の設定をしてください。
- ［ 優先被写体設定］で優先的に笑顔を検出する被写体を選択できます（74ページ）。

### スマイル検出感度

自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。

| | | |
|---|---|---|
| | **高** | ほほえみ程度で検出する。 |
| ▶ | **中** | 普通の笑顔で検出する。 |
| | **低** | 大笑いで検出する。 |

### 優先被写体設定

笑顔を検出する優先対象を選びます。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **オート** | 大人、子どもの区別なく笑顔を検出して撮影する。 |
| | **こども優先** | 子どもの笑顔を優先的に検出して撮影する。 |
| | **おとな優先** | 大人の笑顔を優先的に検出して撮影する。 |

### 顔枠表示設定

73ページをご覧ください。

# 画像再生設定（表示内容の設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## HD/SD 設定

記録、再生、編集する画質をハイビジョン画質（HD）、標準画質（SD）から選ぶことができます。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→［画像再生設定］→［HD/SD 設定］→ 好みの設定 →［はい］→ OK**

| ▶ | HD 画質 | 記録、再生、編集する画質をハイビジョン画質（HD）に設定する。 |
|---|---|---|
| | SD 画質 | 記録、再生、編集する画質を標準画質（SD）に設定する。 |

**ちょっと一言**

- 設定した画質でのみ、記録、再生、編集が可能です。別の画質で記録、再生、編集したいときは、画質を設定し直してください。

## 日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日付時刻データやカメラデータ）を再生時に確認できます。

**設定方法**

**（ホーム）→ （設定）→［画像再生設定］→［日時/データ表示］→ 好みの設定 → OK → ↩ → X**

| ▶ | 切 | 日付時刻データやカメラデータを表示しない。 |
|---|---|---|
| | 日付時刻データ | 記録した画像の日付・時刻データを表示する。 |
| | カメラデータ | 記録した画像のカメラデータを表示する。 |

### 日付時刻データ

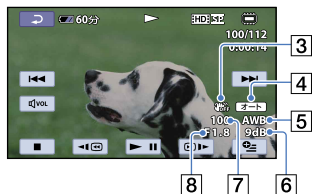
1 日付
2 時刻



目次
便利な撮影テクニック
索引

## カメラデータ

### 動画

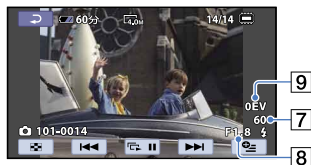
### 静止画

3 手ブレ補正切
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

**ちょっと一言**

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- 記録メディアの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

目次

便利な撮影テクニック

索引

# 音/画面設定(音やパネルの設定)

▶はお買い上げ時の設定です。

## 音量

音量を調節できます。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[音/画面設定]→[音量]→ −/+ で調整 →**
**OK → ↩ → ×**

## 操作音

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[音/画面設定]→[操作音]→ 好みの設定 → OK →**
**↩ → ×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | 撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。 |
| | **切** | 操作音、シャッター音を出さない。 |

## パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[音/画面設定]→[パネル明るさ]→ −/+ で調整**
**→ OK → ↩ → ×**

**ちょっと一言**

• 録画される画像に影響ありません。

## パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[音/画面設定]→[パネルBLレベル]→ 好みの設定 →**
**OK → ↩ → ×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **ノーマル** | 通常の設定(標準の明るさ)。 |
| | **明るい** | 画面が暗いと感じたときに選ぶ。 |

**ご注意**

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
- 液晶画面を180°回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

**ちょっと一言**

- 録画される画像に影響ありません。

## パネル色の濃さ

液晶画面の濃さを調節できます。

**設定方法**

**(ホーム)→(設定)→[音/画面設定]→[パネル色の濃さ]→ −/+ で調整 → OK → ↩ → ×**

**ちょっと一言**

- 録画される画像に影響ありません。

# 出力設定（テレビにつないだときの出力設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## TVタイプ

つなぐテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→[出力設定]→[TVタイプ]→好みの設定→** OK **→** ↩ **→** ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 16:9 | ワイドテレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。<br>ワイド（16:9）で撮影した画像　4:3で撮影した画像 |
| | 4:3 | 4:3テレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。<br>ワイド（16:9）で撮影した画像　4:3で撮影した画像 |

**ご注意**

- ハイビジョン画質（HD）で記録するときの横縦比は16:9になります。
- ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の横縦比に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 画面表示出力

画面表示の出力先を設定します。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→[出力設定]→[画面表示出力]→好みの設定→** OK **→** ↩ **→** ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **パネル** | カウンターなどの画面表示を液晶画面に出す。 |
| | **ビデオ出力/パネル** | カウンターなどの画面表示をテレビ画面と液晶画面に出す。 |

## コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

**設定方法**

**(ホーム) → (設定) → [出力設定] → [コンポーネント出力] → 好みの設定 → OK → ↩ → ✕**

| | | |
|---|---|---|
| | D1 | D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。 |
| ▶ | D3 | D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。 |

## HDMI解像度

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

**設定方法**

**(ホーム) → (設定) → [出力設定] → [HDMI解像度] → [ハイビジョン画質] / [標準画質] → 好みの設定 → OK → ↩ → ↩ → ✕**

### ハイビジョン画質

ハイビジョン画質(HD)で記録された映像の出力解像度を設定します。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | オート | 通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。 |
| | 1080i | 1080iで出力する。 |
| | 720p | 720pで出力する。 |
| | 480p | 480pで出力する。 |

### 標準画質

標準画質(SD)で記録された映像の出力解像度を設定します。

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | オート | 通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。 |
| | 480p | 480pで出力する。 |
| | 480i | 480iで出力する。 |

# 時計設定（日付・時刻などの設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## 日時あわせ

18ページをご覧ください。

## エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わすことができます。「世界時刻表」（103ページ）をご覧ください。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→［時計設定］→［エリア設定］→ ▲/▼ でエリアを選ぶ → OK → ↩ → ×**

## サマータイム

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で［サマータイム］を［入］にすると、時計が1時間進みます。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→［時計設定］→［サマータイム］→ 好みの設定 → OK → ↩ → ×**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | サマータイムに設定しない。 |
| | **入** | サマータイムに設定する。 |

# 一般設定（その他の設定）

▶はお買い上げ時の設定です。

## デモモード

コンセントにつないでいるときに、MODEボタンを押して（動画）ランプを点灯させた約10分後に、本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→[一般設定]→[デモモード]→好みの設定→OK**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | デモンストレーションを出す。 |
| | **切** | デモンストレーションを出さない。 |

**ちょっと一言**

- [入]に設定し、OKを押すとデモンストレーションが開始されます。
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - START/STOPボタン、またはPHOTOボタンを押す
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  - （静止画）ランプを点灯させる
  - （ホーム）ボタン、または（画像再生）ボタンを押す
- 撮影した動画が次の条件を満たした場合、自動的にデモンストレーション用動画として登録されます。
  - プロテクトされていること
  - ビジュアルインデックス上で一番最初にあること
  - 内蔵メモリーに保存されていること
  - ハイビジョン画質（HD）の動画であること

## キャリブレーション

109ページをご覧ください。

## 自動電源オフ

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

**設定方法**

**（ホーム）→（設定）→[一般設定]→[自動電源オフ]→好みの設定→OK→↩→✕**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **5分後** | 自動的に電源が切れる。 |
| | **なし** | 自動的に電源は切れない。 |

**ご注意**

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

## パネルで電源オン

液晶画面の開閉で、電源のオン/オフをするかを設定します。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[パネルで電源オン]→ 好みの設定 →**
OK → ↩ → ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | 液晶画面の開閉で電源のオン/オフをする。 |
| | **切** | 液晶画面の開閉で電源のオン/オフをしない。 |

## HDMI機器制御

HDMIケーブル(別売)でブラビアリンク対応のテレビとつないで再生するとき、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます(45ページ)。

**設定方法**

**(ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[HDMI機器制御]→ 好みの設定 →** OK
→ ↩ → ✕

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **入** | テレビのリモコンで操作する。 |
| | **切** | テレビのリモコンで操作しない。 |

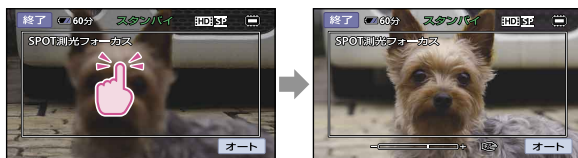
# オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。
▶はお買い上げ時の設定です。

## SPOT測光フォーカス

被写体に合わせて、明るさとピントを同時に合わせます。[スポット測光](84ページ)と[スポットフォーカス](85ページ)が同時に使えます。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ →[SPOT測光フォーカス]→画面枠内の明るさとピントを合わせたい被写体にタッチ→[終了]→**

自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

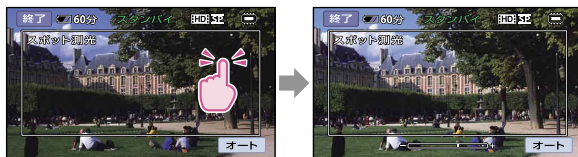
**ご注意**

- [カメラ明るさ]と[フォーカス]は、自動的に[マニュアル]になります。

## スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ →[スポット測光]→画面枠内の撮影するポイントをタッチ→[終了]→**

自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

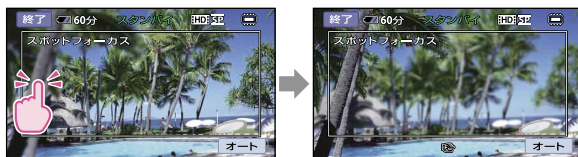
**ご注意**

- [カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

## スポットフォーカス

画面中央からはずれた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ →[スポットフォーカス]→ 画面枠内のピントを合わせたい被写体にタッチ →[終了]→**

自動ピント合わせに戻すには、[オート]をタッチする。

**ご注意**

- [フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

## テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ →[テレマクロ]→ 好みの設定 → OK →**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | 近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。) |
| | **入(T)** | ズーム(31ページ)が自動で望遠(T側)になり、約50cmまでの近接撮影ができる。 |

**ご注意**

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、86ページ)。

## カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調整します。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ 2 →[カメラ明るさ]→[マニュアル]→ [−]/[+] で調節 → [OK] → [↩]**

自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

## フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ 2 →[フォーカス]→[マニュアル]→ (近くにピント合わせ)/(遠くにピント合わせ)でピント調節 → [OK] → [↩]**

自動ピント合わせに戻すには、[オート]をタッチする。

**ご注意**

- マニュアルに設定すると、が表示されます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

**ちょっと一言**

- それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示されます。
- ピントは、はじめにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します(別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません)。
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき

## シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション)→ →[シーンセレクション]→ 好みの設定 →**

OK →

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | オート | シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。 |
| | 夜景*( ) | 暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。 |
| | キャンドル( ) | キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。 |
| | 日の出&夕焼け*( ) | 日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。 |
| | 打ち上げ花火*( ) | 打ち上げ花火をきれいに撮影する。 |
| | 風景*( ) | 遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。 |
| | ソフトポートレート( ) | 背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。 |
| | スポットライト**( ) | スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。 |
| | ビーチ**( ) | 海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。 |
| | スノー**( ) | ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。 |

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

**ご注意**

- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

## ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

**設定方法**

**撮影状態で、(オプション) → 3 → [ホワイトバランス] → 好みの設定 →**

OK → 

| ▶ | オート | 自動調節される。 |
|---|---|---|
| | 屋外( ) | 次の撮影環境に合った色合いになる。<br>– 屋外<br>– 夜景やネオン、花火など<br>– 日の出、日没など<br>– 昼光色蛍光灯の下 |
| | 屋内( ) | 次の撮影環境に合った色合いになる。<br>– 屋内<br>– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所<br>– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下 |
| | ワンプッシュ( ) | 光源に合わせてホワイトバランスを固定する。<br>① [ワンプッシュ]をタッチする。<br>② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。<br>③ [ ]をタッチする。<br> が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。 |

**ご注意**

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- [ワンプッシュ]設定時の  の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- [ワンプッシュ]が設定できなかった場合、 がゆっくり点滅します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OK をタッチしても  が点滅する場合は、[オート]に設定してください。
- [ホワイトバランス]を設定すると[シーンセレクション]が[オート]になります。

**ちょっと一言**

- [オート]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

## フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。
スタンバイ中（フェードイン）、または撮影中（フェードアウト）に以下の操作を行います。

**設定方法**
**撮影状態で、(オプション) → → [フェーダー] → 好みの設定 → OK →**

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | 効果を使わない。 |
| | **ホワイトフェーダー** | フェードイン/アウトで効果を使う（白）。 アウト イン |
| | **ブラックフェーダー** | フェードイン/アウトで効果を使う（黒）。 アウト イン |

操作開始前に解除するには、[切]をタッチする。

**ちょっと一言**
- 一度START/STOPボタンを押すと設定は解除されます。

## 内蔵ズームマイク

ズームと連動して指向性のある音声を記録できます。

**設定方法**
**撮影状態で、(オプション) → → [内蔵ズームマイク] → 好みの設定 → OK → **

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | **切** | ズームと音声を連動しない。 |
| | **入()** | ズームと音声を連動する。 |

## マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。

**設定方法**
**撮影状態で、(オプション) → → [マイク基準レベル] → 好みの設定 → OK → **

| ▶ | 標準 | 周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。 |
|---|---|---|
| | 低（🎤↓） | 周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。（日常の会話の録音などには適していません。） |

## セルフタイマー

PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

**設定方法**

**撮影状態で、（オプション）→ → [セルフタイマー] → 好みの設定 → OK → ↩**

| ▶ | 切 | セルフタイマーを解除する。 |
|---|---|---|
| | 入（⏲） | セルタイマーで撮影する。撮影を中止するには[リセット]をタッチする。 |

# ? 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（最後のページ）にお問い合わせください。



## 修理に出される前のご注意

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存（バックアップ）してください（56ページ、および取扱説明書をご覧ください）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

## 全体操作・かんたん操作

### 電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（16ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（16ページ）。

### 電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（7ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除されます）。

### ボタンが操作できない。

- かんたん操作中は次のボタン・機能は使えません。
  - 再生ズーム（39ページ）
  - 液晶画面バックライトの切り換え（33ページ）

### (オプション)が表示されない。

- かんたん操作中はオプションメニューは使えません。

### メニュー項目の設定が変わっている。

- かんたん操作中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- [■ 画像サイズ]など一部のメニュー項目は、かんたん操作前の設定値が保持されます。
- かんたん操作中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  - [録画モード]：[HD SP]または[SD SP]
  - [顔枠表示設定]：[入]
  - [日時/データ表示]：[日付時刻データ]

- 一部のメニューはかんたん操作を解除してもかんたん操作時の設定が保持されます。
- 次のメニュー項目は、液晶画面を閉じて12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  - [自動逆光補正]
  - [SPOT測光フォーカス]
  - [スポット測光]
  - [スポットフォーカス]
  - [カメラ明るさ]
  - [フォーカス]
  - [シーンセレクション]
  - [ホワイトバランス]
  - [内蔵ズームマイク]
  - [マイク基準レベル]

### 本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

## バッテリー・電源

### 電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる(自動電源オフ)。[自動電源オフ]の設定を変更する(82ページ)か、もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する(16ページ)。

### バッテリーの充電中、CHGランプが点灯しない。

- 液晶画面を閉じる(16ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(16ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(16ページ)。

### バッテリーの充電中、CHGランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す(16ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口にお問い合わせください(115ページ)。

### バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(107ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

### バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(107ページ)。

## 液晶画面

### メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります(96ページ)。

### タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISPボタンを押す(33ページ)。

### タッチパネルのボタンが操作できない、または正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(キャリブレーション)する(109ページ)。

## “メモリースティック PRO デュオ”

### “メモリースティック PRO デュオ”を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)した“メモリースティック PRO デュオ”を入れている場合は、本機で初期化する(63ページ)。

### “メモリースティック PRO デュオ”の画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。

### データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(107ページ)。

## 撮影

「“メモリースティック PRO デュオ”」(93ページ)もご覧ください。

### START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して(動画)ランプまたは(静止画)ランプを点灯させる(27、29ページ)。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する(46ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(100、101ページ)。不要な画像を削除する(46ページ)。

### 静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録できません。
  - [なめらかスロー録画]
  - [フェーダー]

### 撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。

### 画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

### 実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります(100ページ)。

### START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

### 動画の横縦比(ワイド/4:3)が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

### オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする(86ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(86ページ)。

### 手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[入]にする(67ページ)。

- [手ブレ補正]が[入]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

### 画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

### 画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPボタンを数秒間押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（33ページ）。

### 横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

### テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ブレ補正]を[切]に設定する（67ページ）。

### [パネルBLレベル]を調節できない。

- 次のとき、[パネルBLレベル]は調節できません。
  - 液晶画面を外側に向けて本体に収めているとき
  - ACアダプターを使用しているとき

## 再生

### 画像を再生できない。

- 再生したい画像の記録メディアや画質を（ホーム）→（メディア管理）→[動画メディア設定]または[静止画メディア設定]から設定する（60ページ）。
- 再生したい動画の画質を（ホーム）→（設定）→[画像再生設定]→[HD/SD 設定]から設定する（75ページ）。

### 静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません。
- 他機で撮影した静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

### ビジュアルインデックスの画像に ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後にアクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーをはずした。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

### ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。（ホーム）→（メディア管理）→[管理ファイル修復]→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は が表示されている画像を削除する（46ページ）。

### 音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする（35ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル]（89ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。

• [なめらかスロー録画]で、音声は記録できません。

### パソコンや他の再生機器で再生すると、音声の左右のバランスが偏って聞こえる。

• 2chステレオの再生機器の場合は、音声変換の方式(ダウンミックス方式)を切り換える。詳しくは再生機器の取扱説明書をご確認ください。
• 付属のソフトウェア「PMB」を使ってディスク作成するとき、設定を2chに変更する。

### 動画が自動的に再生される。

• 本機では撮影した動画が一定の条件を満たしたときに、デモンストレーション用動画として再生されます(82ページ)。故障ではありません。

## 他機での"メモリースティック PRO デュオ"再生

### 再生できない、または"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

• ハイビジョン画質(HD)で記録した"メモリースティック PRO デュオ"をAVCHD規格に対応していない機器で再生できません。対応機器について詳しくは、ホームページの「"メモリースティック"対応表」をご覧ください(115ページ)。

## 本機での編集

### 編集できない。

• 動画の状態により編集ができなくなっている。

### プレイリストに追加できない。

• 記録メディアの空き容量がない。
• プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(SD)で99個までしか動画を追加できません。プレイリストから不要な動画を消去する(54ページ)。
• 静止画はプレイリストに追加できません。

### 分割できない。

• 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
• プロテクトをかけた動画は分割できません。

### 動画から静止画を作成できない。

• 静止画を記録する記録メディアの容量が足りない。

## テレビでの再生

### テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

• D端子A/Vケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて[コンポーネント出力]を正しく設定する(80ページ)。
• コンポーネントプラグ(D端子)だけでつないでいるため。D端子A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(42、43ページ)。
• 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。
• S(S1、S2)映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(44ページ)。

### 4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

• ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[TVタイプ]を正しく設定して再生する(79ページ)。

### 4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

• ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

## ダビング・外部機器接続

### ダビングできない。

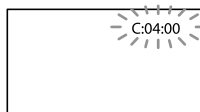
- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（56ページ）。

## 同時に使えない機能一覧

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

| 使えない機能 | 以下を設定してあるため |
|---|---|
| [顔検出] | [なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[SPOT測光フォーカス]、[スポット測光]、[スポットフォーカス]、[カメラ明るさ]、[フォーカス]、[夜景]、[キャンドル]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]、[ホワイトバランス] |
| [スマイル検出設定] | [なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[フェーダー]、[セルフタイマー] |
| [スマイル検出感度] | [なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[フェーダー]、[セルフタイマー] |
| [優先被写体設定] | [なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[フェーダー]、[セルフタイマー] |
| [顔枠表示設定] | [なめらかスロー録画] |
| [シーンセレクション] | [フェーダー]、[テレマクロ] |

## 自己診断・警告表示

液晶画面に次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（115ページ）にお問い合わせください。

### C:（またはE:）□□:□□（ 自己診断表示）

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリー Hシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリー Hシリーズを使う（107ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（16ページ）。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作する。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要です。ソニーの相談窓口（115ページ）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

### 101-0001（ファイル関連の警告）

**遅い点滅**

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

### （バッテリー残量に関する警告）

**遅い点滅**

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

### （"メモリースティック PRO デュオ"関連の警告）

**遅い点滅**

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使える"メモリースティック"については、60ページをご覧ください。
- "メモリースティック PRO デュオ"が入っていない（60ページ）。

**速い点滅**

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから（56ページ、および取扱説明書をご覧ください）、"メモリースティック PRO デュオ"を初期化する（63ページ）。
- 管理ファイルが壊れている。（ホーム）→（メディア管理）→［管理ファイル修復］→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- "メモリースティック PRO デュオ"が壊れている。

### （"メモリースティック PRO デュオ"初期化関連の警告）

- "メモリースティック PRO デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック PRO デュオ"が正しく初期化されていない（63ページ）。

### （非対応"メモリースティック デュオ"関連の警告）

- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた（60ページ）。

### （"メモリースティック PRO デュオ"誤消去防止に関する警告）

- 他機でアクセスコントロールをかけた"メモリースティック PRO デュオ"を使っている。

### （手ブレ警告）

- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

### （静止画撮影に関する警告）

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

**ちょっと一言**

- メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

## お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

### 記録メディア

#### 内蔵メモリーがフォーマットエラーです

- 本機の内蔵メモリーが、出荷時と異なるフォーマットになっている。［メディア初期化］（63ページ）を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

#### データエラーが発生しました

- 本機の内蔵メモリーへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。

### 管理ファイルが破損しています　新規作成しますか？
### HD動画の管理情報が破損しています　新規作成しますか？

- 画像管理用ファイルが破損している。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機の記録メディアにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります（画像ファイルは壊れません）。新規作成後［管理ファイル修復］を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合もあります。それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーしてください。

### 管理ファイルに不整合が見つかりました　修復しますか？
### 管理ファイルが破損しています　修復しますか？
### 管理ファイルに不整合が見つかりました　HD動画を記録・再生できません　修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。[はい]をタッチして修復する。
- “メモリースティック PRO デュオ”への静止画撮影は可能です。

### データ修復中

- 本機の記録メディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

### データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機の記録メディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

### メモリースティックを入れなおしてください

- “メモリースティック PRO デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック PRO デュオ”が壊れている可能性があるので交換してください。

### このメモリースティックはフォーマットが違います

- “メモリースティック PRO デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化する（63ページ）。

### 静止画用フォルダがいっぱいです　静止画の記録はできません

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか（63ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

### このメモリースティックは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしている“メモリースティック”をお使いください（60ページ）。

### このメモリースティックは正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしている“メモリースティック”をお使いください（60ページ）。
- ソニーの相談窓口（115ページ）にお問い合わせください。

### 書き込み中にメモリースティックが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- “メモリースティック PRO デュオ”をもう一度入れて、画面の指示に従う。

## その他

### これ以上選択できません

- プレイリストにはハイビジョン画質（HD）で999個、標準画質（SD）で99個までしか動画を追加できません。
- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 画像のプロテクト、解除
  - ダビング
  - コピー
  - ハイビジョン画質（HD）の動画のプレイリスト編集

### このデータはプロテクトされています

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

# 記録時間・枚数について

「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質を表しています。

## バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

### 撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

| バッテリー型名 | 連続撮影時 | | 実撮影時 | |
|---|---|---|---|---|
| 画質 | HD | SD | HD | SD |
| NP-FH50（付属） | 90 | 110 | 45 | 55 |
| NP-FH70 | 195 | 235 | 95 | 115 |
| NP-FH100 | 440 | 535 | 220 | 265 |

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  - 録画モード：「SP」
  - 液晶画面バックライトが[入]のとき
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、MODEランプの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10 ～ 30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

### 再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

| バッテリー型名 | 液晶画面で再生 | |
|---|---|---|
| 画質 | HD | SD |
| NP-FH50（付属） | 135 | 155 |
| NP-FH70 | 290 | 330 |
| NP-FH100 | 650 | 745 |

- 液晶画面バックライトが「入」のとき

## 動画の撮影可能時間の目安

### 内蔵メモリー

#### ハイビジョン画質（HD）のとき

| 録画モード | 録画時間 |
|---|---|
| [HD FH] | 1時間55分（1時間55分） |
| [HD HQ] | 3時間50分（2時間45分） |
| [HD SP] | 4時間50分（3時間25分） |
| [HD LP] | 6時間30分（5時間） |

#### 標準画質（SD）のとき

| 録画モード | 録画時間 |
|---|---|
| [SD HQ] | 3時間55分（3時間30分） |
| [SD SP] | 5時間40分（3時間30分） |
| [SD LP] | 11時間55分（7時間40分） |

**ちょっと一言**

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質（HD）で最大3,999個、標準画質（SD）で9,999個です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。
- （　）内は最低録画時間です。

### “メモリースティック PRO デュオ”

#### ハイビジョン画質（HD）のとき（単位：分）

| | AVC HD 16M (FH) | AVC HD 9M (HQ) | AVC HD 7M (SP) | AVC HD 5M (LP) |
|---|---|---|---|---|
| 1GB | 6 (6) | 10 (9) | 15 (10) | 20 (15) |
| 2GB | 10 (10) | 25 (20) | 35 (25) | 45 (35) |
| 4GB | 25 (25) | 55 (40) | 70 (50) | 95 (70) |



目次
便利な撮影テクニック
索引

| | AVC HD 16M (FH) | AVC HD 9M (HQ) | AVC HD 7M (SP) | AVC HD 5M (LP) |
|---|---|---|---|---|
| 8GB | 55 (55) | 115 (80) | 145 (100) | 195 (150) |
| 16GB (付属) | 115 (115) | 230 (165) | 290 (205) | 390 (300) |

### 標準画質(SD)のとき(単位：分)

| | SD 9M (HQ) | SD 6M (SP) | SD 3M (LP) |
|---|---|---|---|
| 1GB | 10 (10) | 20 (10) | 40 (25) |
| 2GB | 25 (25) | 40 (25) | 85 (55) |
| 4GB | 55 (50) | 80 (50) | 170 (110) |
| 8GB | 115 (105) | 170 (105) | 355 (230) |
| 16GB (付属) | 235 (210) | 340 (210) | 715 (460) |

#### ご注意

- ソニー製"メモリースティック PRO デュオ"使用時。
- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[録画モード](65ページ)、"メモリースティック"の種類によっても変わります。
- (　)内は最低録画時間です。

## 静止画の撮影可能枚数の目安

### 内蔵メモリー

最大9,999枚撮影できます。

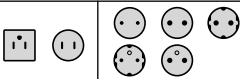
### "メモリースティック PRO デュオ"(単位：枚)

| | 4.0M 2304×1728 4.0M |
|---|---|
| 1GB | 470 |
| 2GB | 970 |
| 4GB | 1850 |
| 8GB | 3850 |
| 16GB (付属) | 7700 |

- (静止画)ランプが点灯しているときの画像サイズです。
- 撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください(8ページ)。

#### ご注意

- ソニー製"メモリースティック PRO デュオ"使用時。枚数は撮影環境や"メモリースティック"の種類によって異なる場合があります。
- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

#### ちょっと一言

- 静止画撮影には、容量1GB未満の"メモリースティック デュオ"も使えます。
- 動画記録モードの平均ビットレート、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
  - ハイビジョン画質(HD)：
  FH：約16Mbps 1 920×1 080画素/16：9
  HQ：約 9Mbps 1 440×1 080画素/16：9
  SP：約 7Mbps 1 440×1 080画素/16：9
  LP：約 5Mbps 1 440×1 080画素/16：9
  - 標準画質(SD)：
  HQ：約 9Mbps 720×480画素/ 16：9、4：3
  SP：約 6Mbps 720×480画素/ 16：9、4：3
  LP：約 3Mbps 720×480画素/ 16：9、4：3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  - 静止画撮影モード：
  2 304×1 728ドット/ 4：3
  2 304×1 296ドット/16：9
  1 600×1 200ドット/ 4：3
  640×480ドット/ 4：3
  - デュアル記録：
  2 016×1 134ドット/16：9
  1 512×1 134ドット/ 4：3
  - 動画から静止画作成：
  1 920×1 080ドット/16：9
  640×360ドット/ 16：9
  640×480ドット/ 4：3

# 海外で使う

### 電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

### 海外のコンセントの種類

| 壁のコンセントの形状例 | 主に北米 | 主にヨーロッパなど |
|---|---|---|
| 使用する変換プラグアダプター | 不要 | |

### ハイビジョン画質（HD）で見るには

ハイビジョン画質（HD）で記録した画像をハイビジョン画質（HD）で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントA/Vケーブル（別売）またはHDMIケーブル（別売）が必要です。
本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）」を参照してください。

### 標準画質（SD）で見るには

標準画質（SD）で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

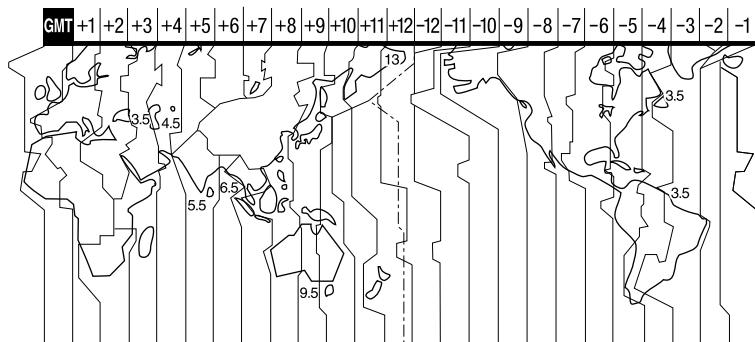
### テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

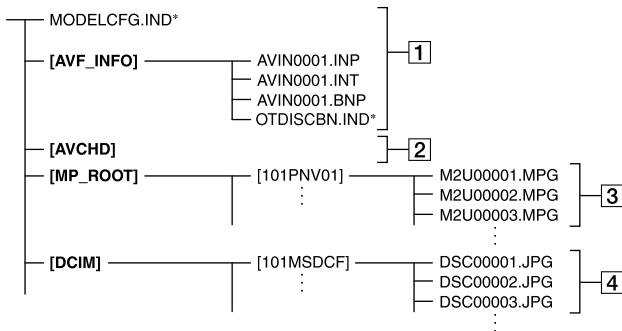
アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

### 現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、(ホーム)→ (設定)→[時計設定]の[エリア設定]と[サマータイム]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます(81ページ)。

### 世界時刻表

目次
便利な撮影テクニック
索引

# 内蔵メモリー・“メモリースティック PRO デュオ”のファイル・フォルダ構成

本機の記録メディア上のファイル・フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影・再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで、撮影した動画や静止画を楽しむには、「PMB ガイド」をご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

* 内蔵メモリーのみ

**1 画像管理用ファイル**
削除すると、画像を正常に撮影・再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

**2 HD動画管理情報フォルダ**
本フォルダ以下にハイビジョン画質（HD）の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダや、本フォルダ内のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。

**3 SD動画ファイル（MPEG2ファイル）**
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダ名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

**4 静止画ファイル（JPEGファイル）**
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機の記録メディアは、（ホーム）→（その他の機能）→[USB接続]→[USB接続]/[USB接続]を選択して本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- パソコンからのアクセスは、同梱の「PMB」を使用してください。パソコンから直接本機の

ファイルやフォルダを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、46ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアをフォーマット（初期化）しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

# 使用上のご注意とお手入れ

## AVCHD規格について

### AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式*[1]や720p方式*[2]のHD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。
MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cmDVDディスク、内蔵ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、“メモリースティック PRO デュオ”などにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン映像信号を記録することができます。

### 本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD(ハイビジョン)記録ができます。
また、AVCHD規格でのHD(ハイビジョン)記録に加え、従来からのMPEG2規格でSD(標準)記録することもできます。

映像*[3]:MPEG-4 AVC/H.264　1920×1080/60i、1440×1080/60i
音声:ドルビーデジタル2ch
記録メディア:内蔵メモリー、“メモリースティック PRO デュオ”

*[1] 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
*[2] 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格
*[3] 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

## “メモリースティック”について

“メモリースティック”(“Memory Stick”)は小さくて軽いのに大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

| “メモリースティック”の種類 | 記録・再生 |
|---|---|
| “メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応) | — |
| “メモリースティック PRO デュオ” | ○ |
| “メモリースティック PRO-HG デュオ” | ○* |

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック PRO デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック PRO デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック PRO デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック PRO デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック PRO デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック PRO デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック PRO デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

### “メモリースティック デュオ”アダプターの使用について

- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。“メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因になりますのでご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”アダプターに“メモリースティック PRO デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

### “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は16GBまでです。

### 画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック PRO デュオ”が本機で使えないときは、本機で初期化をしてください（63ページ）。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

## InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Hシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Hシリーズには InfoLITHIUM H SERIES マークがついています。

### InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター /チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
- 付属のバッテリー NP-FH50は、“ActiFORCE”に対応しています。
  “ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

### 充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10 ～ 30℃の範囲で、CHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

### バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」(別売)を使う
- 液晶パネルの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」(別売)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに液晶画面を閉じるようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

### バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

### バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、(ホーム)→(設定)→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(82ページ)。

### バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

## x.v.Color(エックスブイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

## 本機の取り扱いについて

### 使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面を傷めます。

## 長時間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
  電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
  次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
  - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
  - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
  - スコールや夏の夕立の後
  - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
  本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

## 液晶画面について

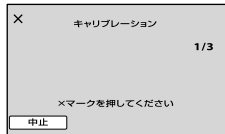
- 液晶画面を強く押すと、画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

## 液晶画面のお手入れ

- 液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
- 別売の液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

## タッチパネルの調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① (ホーム) → (設定) → [一般設定] → [キャリブレーション]をタッチする。

② “メモリースティック PRO デュオ”の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[中止]をタッチする。

### ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つけるおそれがあります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

### 本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

### カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

### 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

### 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶画面を閉じて24時間以上放置する。

### “メモリースティック PRO デュオ”を廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック PRO デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック PRO デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック PRO デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

### 商標について

- "ハンディカム"、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK TM、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- "BIONZ"はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

## ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

## GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-SR87をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

# 索引

## マ



## ヤ



## ラ



## ワ



## アルファベット



## 数字

## ■ 製品についてのサポートのご案内

### ホームページで調べる

**ハンディカムの最新サポート情報**
**(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)**
http://www.sony.co.jp/cam/support/

**ハンディカムホームページ**
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

**"メモリースティック"対応表**
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

**付属ソフトウェア(PMB)のサポート情報**
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

### 電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

**●使い方相談窓口**
**フリーダイヤル**........................................ 0120-333-020
**携帯・PHS・一部のIP電話**........................0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

**●修理相談窓口**
**フリーダイヤル**........................................ 0120-222-330
**携帯・PHS・一部のIP電話**........................ 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

**ホームページ**　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX(共通):0120-333-389

## ■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」またはWEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

目次
便利な撮影テクニック
索引